

平成31年度(令和元年度)
全国学力・学習状況調査

調査結果の概要

はじめに	P 1
1. 調査の概要	P 1
2. 全体の概要 (1)	P 2
(2)	P 3
3. 吹田市結果より	P 4～5
4. 学力・学習状況の概要	
1 教科に関する調査結果	
(1) 各教科の概要	P 6～10
(2) 各教科問題別分析	
小学校 国語	P 11～14
中学校 国語	P 15～17
児童・生徒質問紙 国語	P 18～22
小学校 算数	P 23～25
中学校 数学	P 26～28
児童生徒質問紙 算数・数学	P 29～34
中学校 英語	P 35～38
生徒質問紙 英語	P 39～45
2 生活習慣や学習環境等に関する調査結果	
(1) 自分自身のことについて	P 46～51
(2) 家庭生活・地域社会について	P 52～59
(3) 学校生活・学習について	P 60～68
おわりに	P 69

はじめに

本市では、教育施策や学校における指導方法の工夫改善につなげるため、児童・生徒の学力・学習状況を把握し、課題について検証してまいりました。全小・中学校において、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査に参加し、今年度は特に教科の概要とともに、児童・生徒の意識調査から学習意欲や学習方法等に見られる課題について分析を行いました。

本市の教育がめざすところは、小・中学校9年間を見通した指導の一貫性や系統性をもたせ、円滑な接続を図り、次世代を担う子供たちに、困難に打ち克ってくじけない、「知」「徳」「体」の調和がとれた「総合的人間力」を育成することです。

新学習指導要領では、「何のために学ぶのか」という学習意義を共有しながら、授業の創意工夫や教材の改善を引き出していけるよう、すべての教科が、「知識・技能(何を理解しているか、何ができるか)」、「思考力・判断力・表現力等(理解していること・できることをどう使うか)」、「学びに向かう力・人間性等(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)」という三つの柱で整理されました。また、その力をつけるためには、「主体的・対話的で深い学び」の充実も求められています。

教育委員会としましては、調査結果から、吹田の教育や児童・生徒の強みや課題を分析し、教育施策に反映させたいと、教職員研修を一層充実させ、各校の授業研究、生徒指導等の場面におけるより具体的な指導方法の向上をめざし、確かな学力を育む取組を積極的に進めてまいります。

1. 調査の概要

(1) 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 実施日 平成31年(令和元年)4月18日(木)

(3) 調査対象 小学校6年生・中学校3年生の児童・生徒

(4) 本市受験者数 小学校 36校 (3164名) 中学校 18校 (3038名)

(5) 調査内容

ア 学力に関する調査 : 小学校 (国語・算数)
中学校 (国語・数学・英語)

イ 学習状況に関する調査

児童・生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査

ウ 学校の取組に関する調査

学校を対象に学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査

(6) 調査経緯

全国学力・学習状況調査は平成19年度～平成21年度に全員調査を行い、平成22年度・平成24年度・平成25年度は3割の抽出校及び希望校による調査でした。平成23年度は東日本大震災のため、中止となりました。平成26年度以降は再び全員調査となっています。平成30年度は、平成24年度・平成27年度に続き、3年ぶりに理科が実施されました。平成31年度(令和元年度)は、従来のA(主として「知識」に関する内容)・B(主として「活用」に関する内容)問題が一体化され、また、中学校調査において、英語が実施されました。なお、英語調査において口述式の「話すこと」調査が実施されたことも、今年度の大きな特徴の1つです。

2. 全体の概要

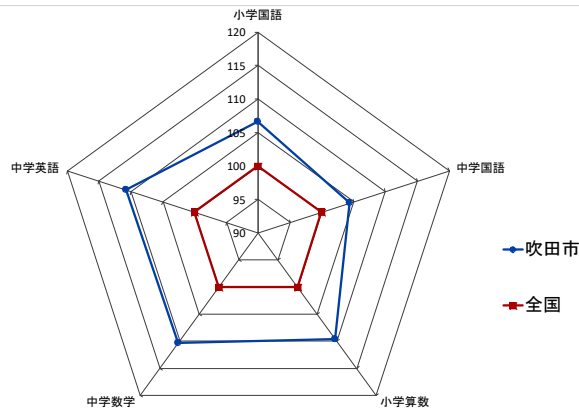
(1) 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査

校種・教科別正答率と全国比値

【平成31年度（令和元年度）】

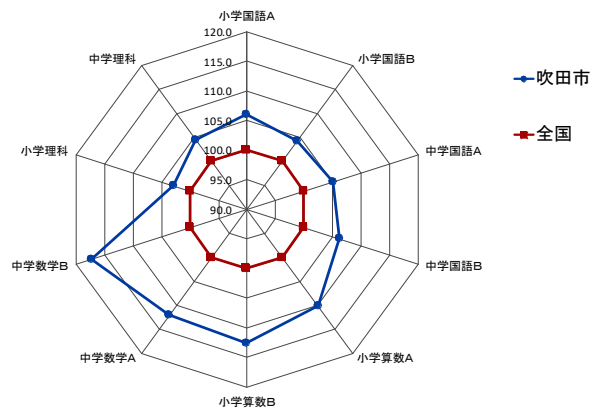
全国比値＝吹田の平均正答率÷全国の平均正答率（全国を100としたときの吹田の平均正答率）

	小学国語	小学算数	中学国語	中学数学	中学英語
R1吹田	106.6	109.6	104.4	110.4	110.7
(平均正答率)	68.0	73.0	76.0	66.0	62.0
R1全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(平均正答率)	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0



【平成30年度】（参考）

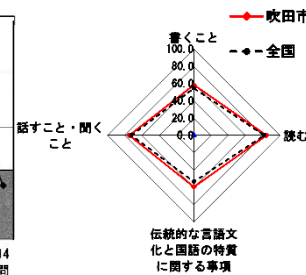
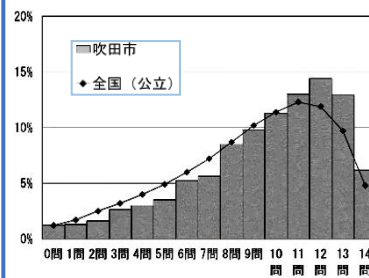
	小学国語A	小学国語B	小学算数A	小学算数B	小学理科	中学国語A	中学国語B	中学数学A	中学数学B	中学理科
H30吹田 (前回比)	106.0 (↑3.1)	104.2 (↓1.9)	110.2 (↑4.6)	112.6 (↓0.7)	102.8 (↓2.5)	105.1 (↑0.4)	106.2 (↓0.4)	112.0 (↓1.0)	117.3 (↑5.0)	104.4 (↓1.4)
(平均正答率)	75.0	57.0	70.0	58.0	62.0	80.0	65.0	74.0	55.0	69.0
H30全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(平均正答率)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1



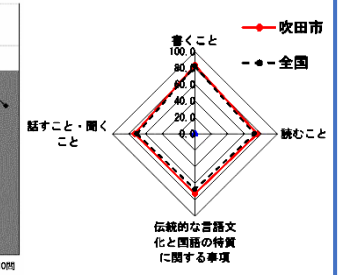
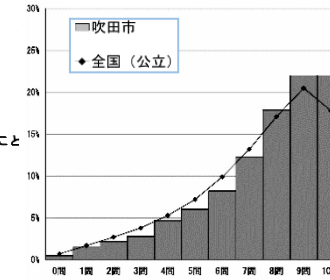
正答数分布・領域等別正答率の全国比値

国語

【小学校】

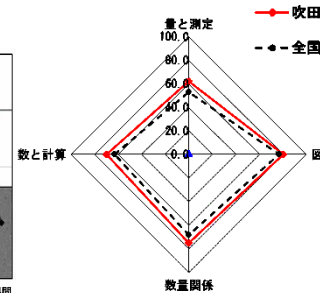
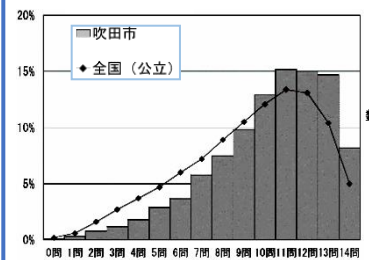


【中学校】

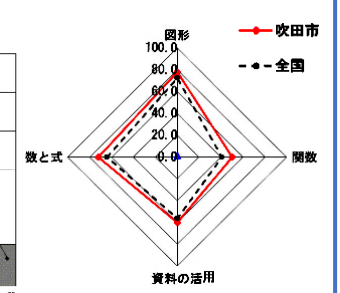
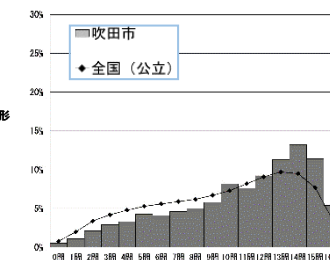


算数・数学

【小学校】



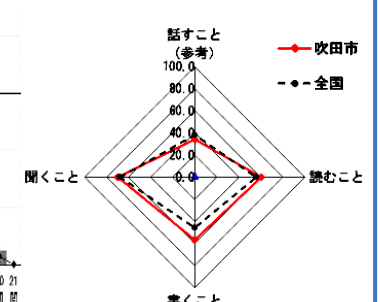
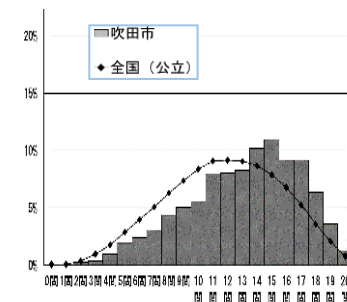
【中学校】



英語

【中学校】

*「話すこと」調査は除く



小・中学校ともに国語はどの領域も全国値を上回っていました。また小学校の算数、中学校の数学・英語は全国値に比べ約10ポイント以上正答率が上回っていました。



(2) 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査



向上がみられる



課題がみられる

児童・生徒質問紙

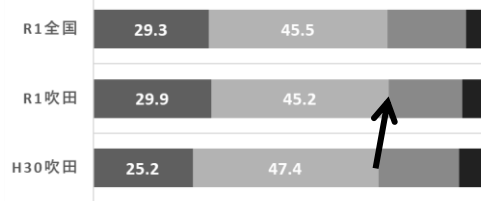
○課題解決に向けて自ら取り組んでいる

小学校

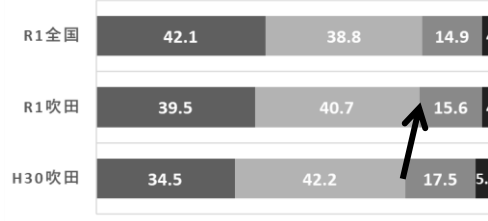


■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

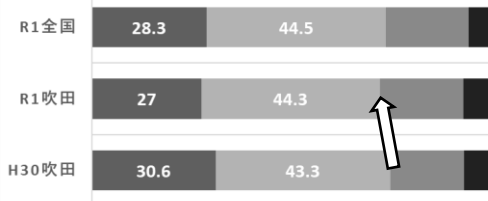
中学校



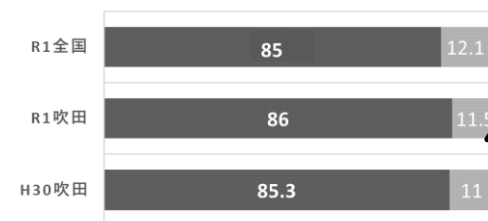
○話し合い活動により考えの深まりや広がりがある



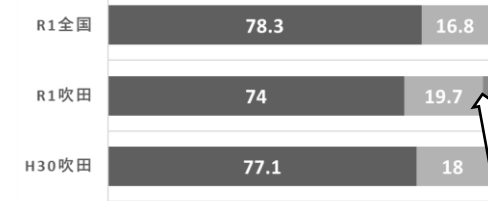
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



「課題解決に向けて自ら取り組んでいる」については児童・生徒質問紙で、肯定的回答が増加しているが、学校質問紙・中学校においては、減少している。今後も引き続き、生徒が自ら課題を設定し、解決に向かう際に、課題を把握するための適切な支援を行ったり、「話し合い活動」による考えの深まりを体験させる場面を設けたりし、主体的に課題に向き合えるような指導を行っていく。

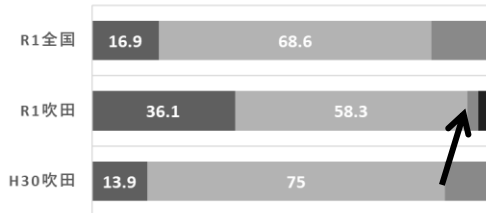
「いじめはいけないことだ」との認識を持っている児童・生徒は多いが、より一層意識を高めていくために、人権教育、道徳の授業等を充実させ、いじめを許さない心を醸成していく。

「ICTの活用」については、授業等において、目的や場面に応じた効果的な活用を行い、さらなる向上をめざす。また、各教科において既習事項を指定したキーワードを使って説明する活動やプレゼンテーションソフトでまとめる活動を取り入れる等「言語活動の充実」を図っていく。

学校質問紙

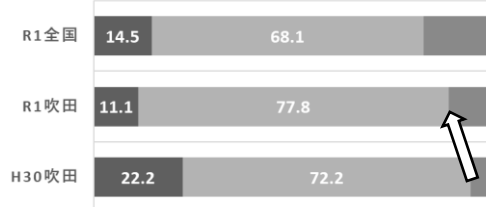
○児童・生徒は課題解決に向けて取り組むことができている

小学校

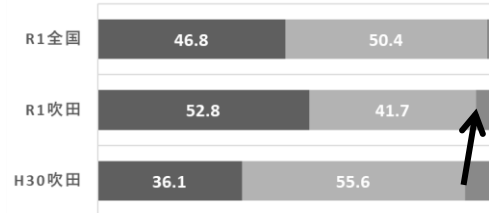


■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

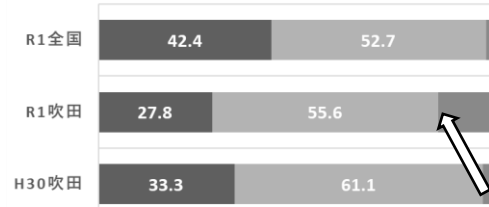
中学校



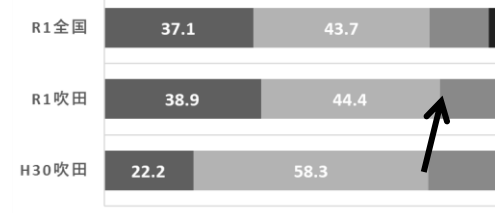
○学校全体として国語科以外でも言語活動に取り組んでいる



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



○ICTを活用した授業が充実している



■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



3. 吹田市結果より

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査

吹田の子供のチカラを伸ばす！

平成31年度（令和元年度）の本市の調査結果を分析し、吹田の強みや課題、吹田の子供たちにつけたいチカラをまとめました。

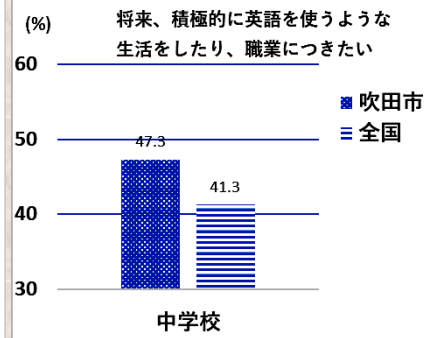
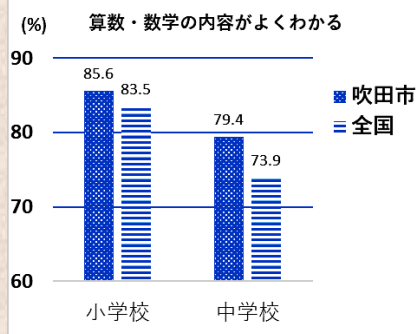


調査の概要

- ◇調査日 平成31年（令和元年）4月18日（木）
- ◇調査対象 小学校6年生・中学校3年生 の児童・生徒
- ◇調査内容 小学校：国語・算数
中学校：国語・数学・英語
小学校・中学校：生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査

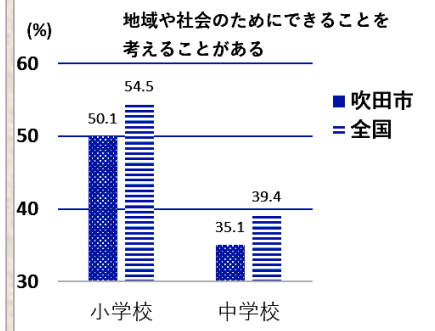
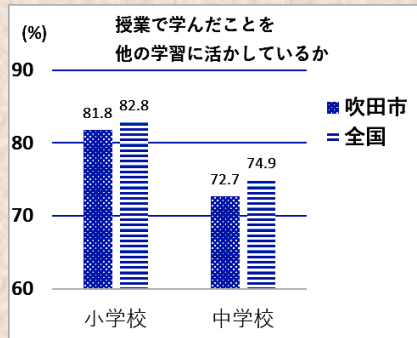
吹田の子供・吹田の教育の強み

- ◆学校に行くのが楽しいという思い
- ◆英語に対する関心の高さ
- ◆人の役に立ちたいという強い思い
- ◆よくわかる算数・数学の授業
- ◆よくわかる英語の授業



吹田の子供・吹田の教育の課題

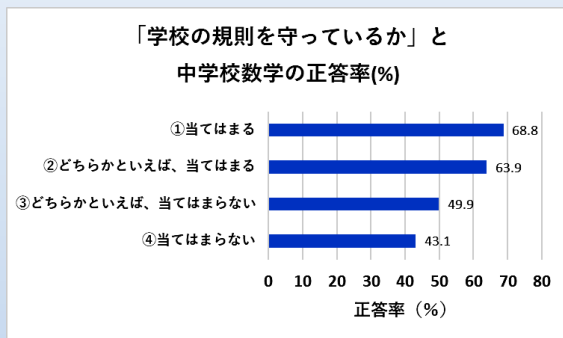
- ◆将来の夢や目標を持つこと
- ◆授業で学んだことを他に活かすこと
- ◆主体的に学習の計画を立てること
- ◆地域・社会との関わり合い
- ◆話し合いによる課題解決



学習・生活習慣と学力（正答率）の関係



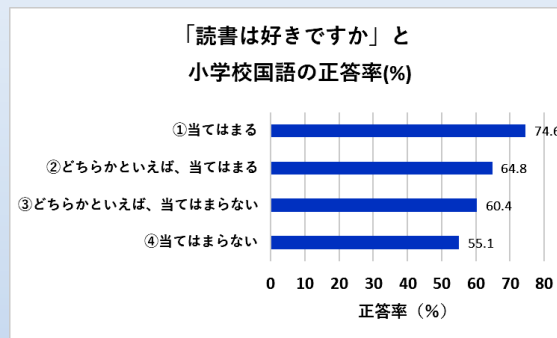
きまりを守るチカラ



「学校の規則を守っている」と回答している児童・生徒のほうが、小・中学校いずれの教科においても、正答率が高い。

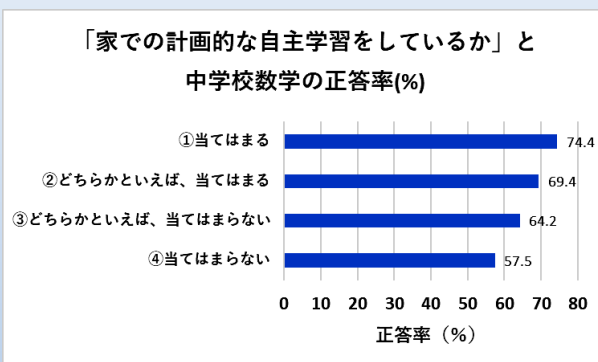
学校全体の共通理解のもと、児童・生徒が規範意識をもって学校生活を送り、「めりはりのある授業」「成長を促す指導」を行う必要がある。

読書習慣のチカラ



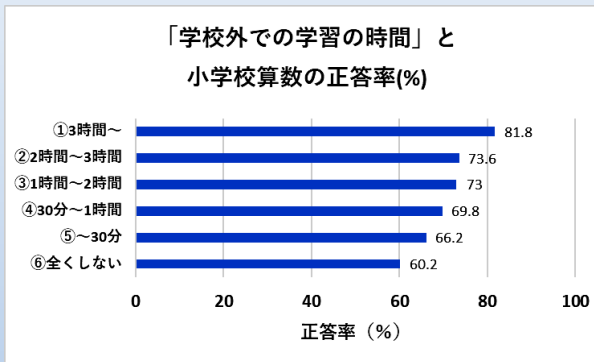
「読書が好き」と回答している児童・生徒のほうが、小・中学校いずれの教科においても、正答率が高い。しかし、本市中学校においては、「読書は好きですか」に対する肯定的な回答率が全国を下回っている。読書活動支援員を一層活用し、授業に関連深い図書や新着図書の紹介を行うなど、毎日行きたくなるような学校図書館づくりの推進が必要である。

計画的な家庭学習のチカラ



「自ら計画を立てて勉強をしている」と回答している児童・生徒のほうが、小・中学校いずれの教科においても、正答率が高い。また、学校外での学習を「全くしない」と回答している児童・生徒は、小・中学校いずれの教科においても、正答率が低い。

「自主学習の日」を設定する等、学校が保護者と連携をとりながら、児童・生徒が自ら課題を設定し、計画的に学習を進める習慣を身につけさせる必要がある。



4. 学力・学習状況の概要

1 教科に関する調査結果

(1) 各教科の概要

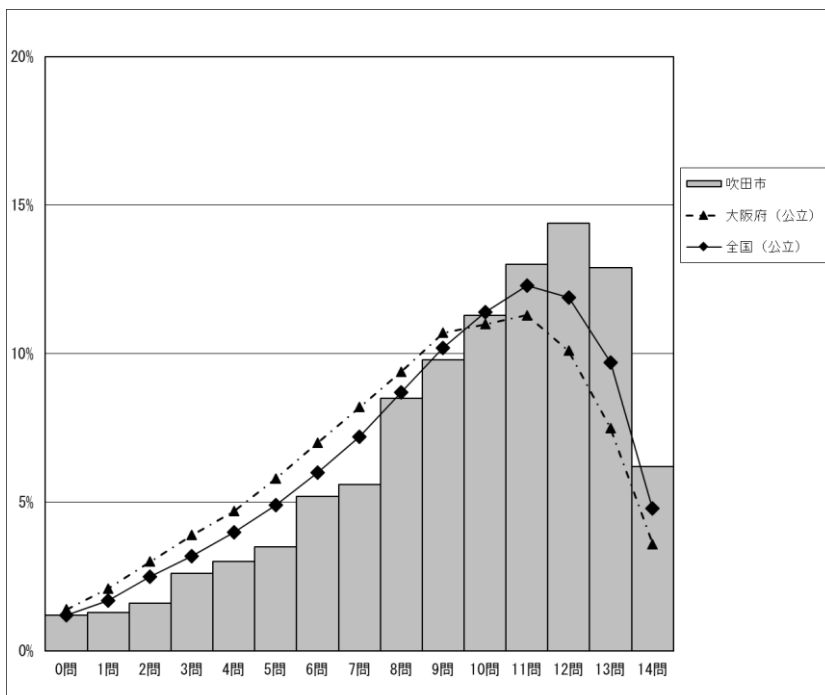
小学校 国語

<分類・区分別集計結果>

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)	
全体			14	68.0	60.0	63.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	74.9	68.8	72.3	
	書くこと	3	58.7	52.9	54.5	
	読むこと	3	84.3	79.3	81.7	
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	5	59.4	48.2	53.5	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	60.1	53.4	57.6	
	話す・聞く能力	3	74.9	68.8	72.3	
	書く能力	3	58.7	52.9	54.5	
	読む能力	3	84.3	79.3	81.7	
	言語についての知識・理解・技能	5	59.4	48.2	53.5	
問題形式	選択式	7	78.2	73.3	75.1	
	短答式	4	55.7	42.8	48.7	
	記述式	3	60.1	53.4	57.6	

<正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:児童の割合)>

	平均正答数	平均正答率 (%)
吹田市	9.5 / 14	68.0
大阪府(公立)	8.4 / 14	60.0
全国(公立)	8.9 / 14	63.8



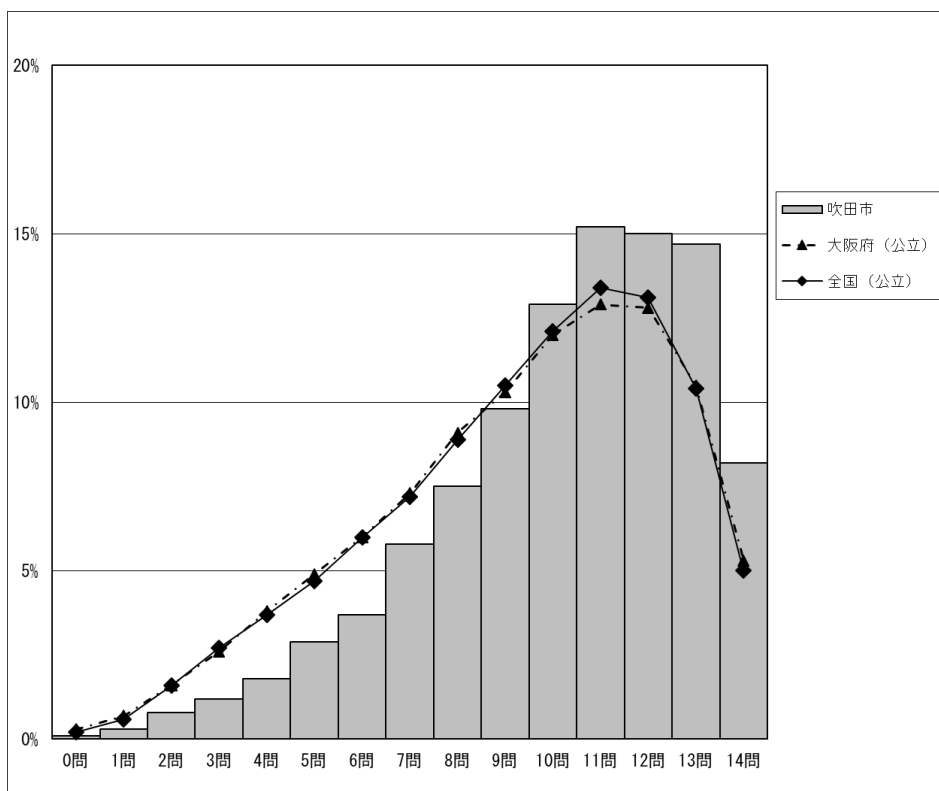
小学校 算数

<分類・区分別集計結果>

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)
全体		14	73.0	66.0	66.6
学習指導要領の領域	数と計算	7	69.9	63.4	63.2
	量と測定	3	62.0	52.0	52.9
	図形	2	80.4	76.0	76.7
	数量関係	7	75.1	68.3	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	8	69.6	61.9	62.2
	数量や図形についての技能	4	78.9	73.2	73.6
	数量や図形についての知識・理解	2	73.9	70.9	70.1
問題形式	選択式	5	79.7	75.7	75.7
	短答式	5	79.8	73.1	72.8
	記述式	4	55.8	46.4	47.4

<正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:児童の割合)>

	平均正答数	平均正答率 (%)
吹田市	10.2 / 14	73.0
大阪府(公立)	9.3 / 14	66.0
全国(公立)	9.3 / 14	66.6

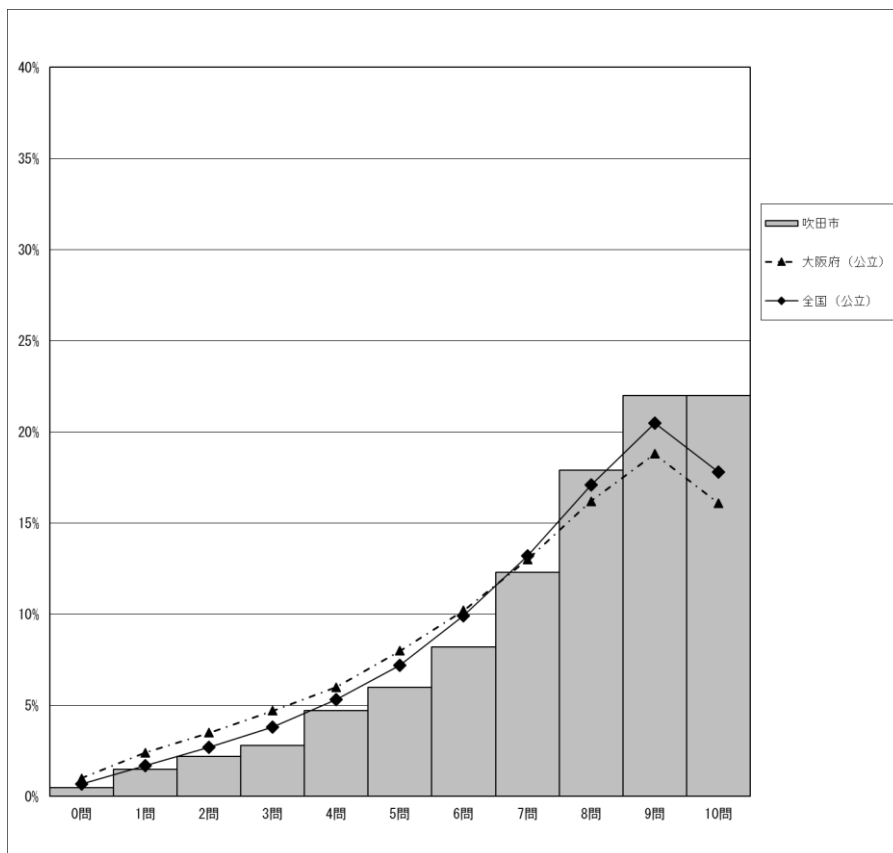


<分類・区分別集計結果>

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)		
			吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)
全体		10	76.0	70.0	72.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.6	66.9	70.2
	書くこと	2	83.4	80.2	82.6
	読むこと	3	75.2	69.2	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	72.7	65.8	67.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	77.8	72.6	76.5
	話す・聞く能力	3	73.6	66.9	70.2
	書く能力	2	83.4	80.2	82.6
	読む能力	3	75.2	69.2	72.2
	言語についての知識・理解・技能	2	72.7	65.8	67.7
問題形式	選択式	6	77.1	71.4	73.6
	短答式	1	62.4	54.2	56.8
	記述式	3	77.8	72.6	76.5

<正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:生徒の割合)>

	平均正答数	平均正答率(%)
吹田市	7.6 / 10	76.0
大阪府(公立)	7.0 / 10	70.0
全国(公立)	7.3 / 10	72.8

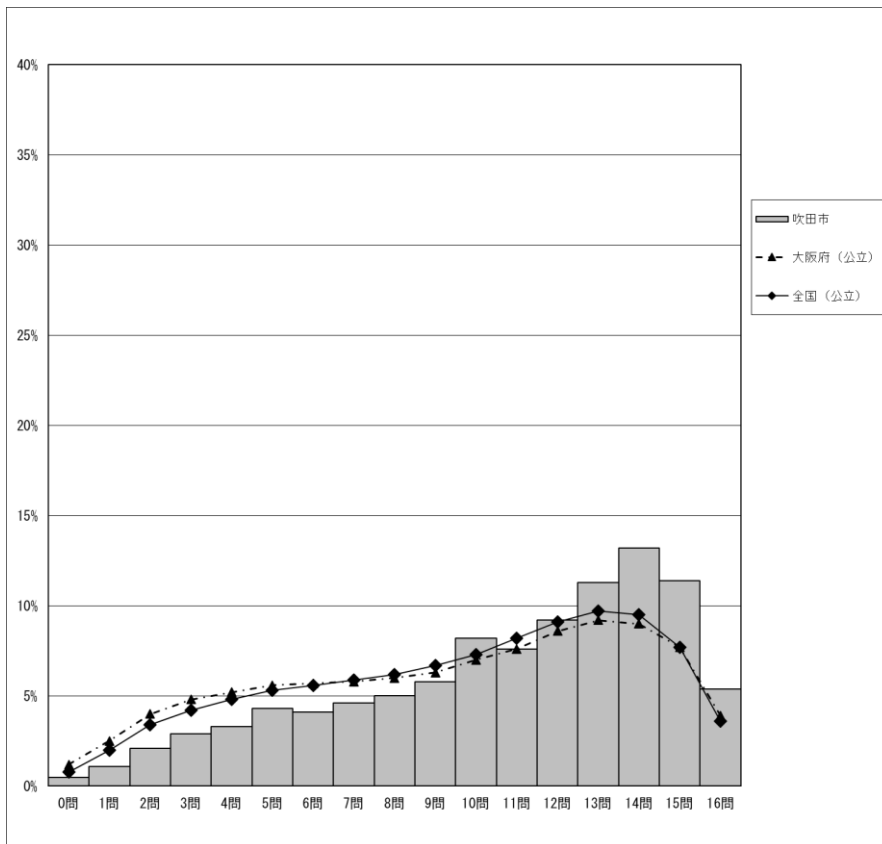


<分類・区分別集計結果>

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)		
			吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)
全体		16	66.0	58.0	59.8
学習指導要領の領域	数と式	5	72.1	62.6	63.8
	図形	4	77.9	71.3	72.4
	関数	3	50.2	39.6	40.8
	資料の活用	4	60.2	53.8	56.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	8	58.5	49.7	51.0
	数学的な技能	3	71.1	62.2	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	5	76.4	69.5	71.3
問題形式	選択式	5	66.1	59.1	60.3
	短答式	7	73.9	64.9	66.6
	記述式	4	53.9	45.7	47.1

<正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:生徒の割合)>

	平均正答数	平均正答率(%)
吹田市	10.6 / 16	66.0
大阪府(公立)	9.3 / 16	58.0
全国(公立)	9.6 / 16	59.8



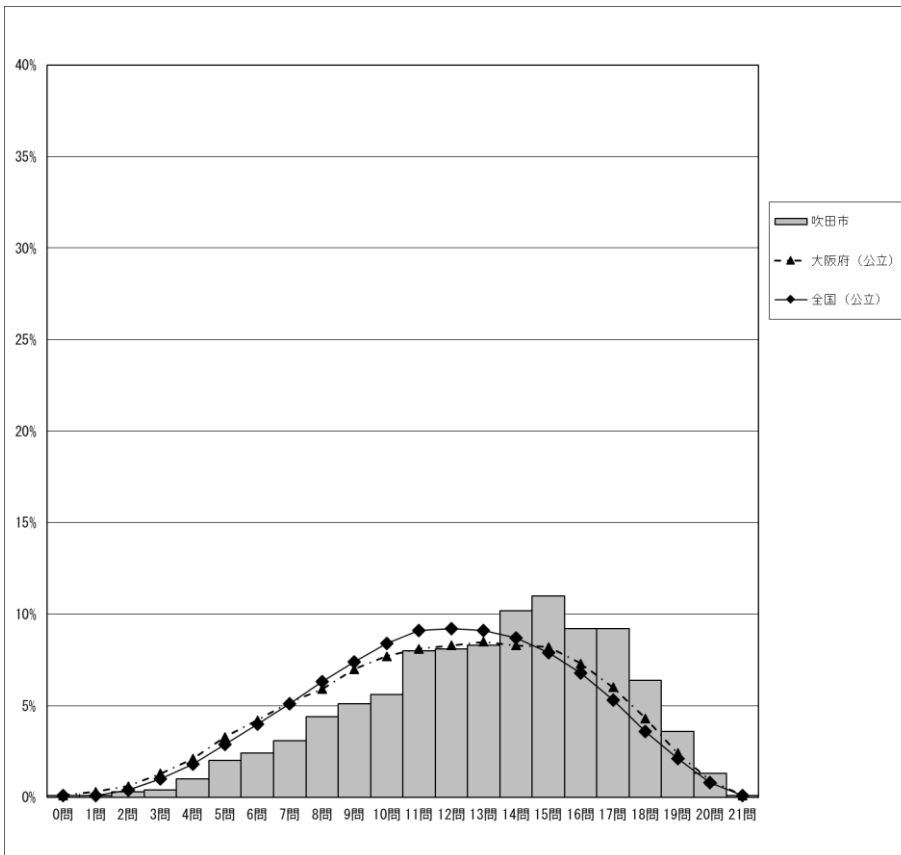
<分類・区分別集計結果>

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)		
			吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)
全体		21	62.0	56.0	56.0
学習指導要領の領域	聞くこと	7	70.0	66.8	67.9
	話すこと(参考値)	5	34.0		30.8
	読むこと	6	60.2	55.3	55.6
	書くこと	8	56.8	47.4	45.8
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0			
	外国語表現の能力	1	3.0	1.9	1.8
	外国語理解の能力	6	47.1	44.2	44.7
	言語や文化についての知識・理解	14	72.8	65.1	64.7
問題形式	選択式	13	76.0	70.7	71.4
	短答式	5	58.3	47.7	45.2
	記述式	3	8.8	7.0	6.8

* 「話すこと」調査は各校の平均を市として平均したもので、参考値です。

<正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:生徒の割合)>

	平均正答数	平均正答率(%)
吹田市	13.1 / 21	62.0
大阪府(公立)	11.8 / 21	56.0
全国(公立)	11.8 / 21	56.0



* 「話すこと」調査は除く

(2) 各教科問題別分析

【問題別分析 小学校 国語】

◇ほとんどの設問について、正答率は全国平均を上回り、概ね良好な結果であったが、『3三』の設問に課題が見られた。

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域等	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 全国差	判定	無回答率 全国差	判定
			吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)	吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)				
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】でく資料2とく資料3をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	書くこと	75.0	70.1	71.2	0.7	0.6	0.5	3.8	○	0.2	△
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する		68.4	62.7	63.4	5.9	6.4	5.9	5	◎	0	
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の [] に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く		32.7	25.9	28.8	3.4	4.1	3.8	3.9	○	-0.4	
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の _____ 部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	42.0	36.2	41.9	4.9	8.0	8.2	0.1		-3.3	○
1四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の _____ 部イを、漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)		77.2	65.4	69.4	8.4	13.3	12.1	7.8	◎	-3.7	○
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の _____ 部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)		50.6	29.3	35.6	2.6	4.8	4.9	15	◎	-2.3	○
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の [] の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す		52.8	40.1	47.8	10.3	13.0	11.3	5	◎	-1	

正答率の判定記号について

◎ : 全国値に比べ+5%以上
 ○ : 全国値に比べ+2%以上+5%未満
 無印: 全国値に比べ0%以上+2%未満
 △ : 全国値に比べ-5%より大きく0%未満
 × : 全国値に比べ-5%以下

無解答率の判定記号について

◎ : 全国値に比べ-5%以下
 ○ : 全国値に比べ-5.0%より大きく-2%未満
 無印: 全国値に比べ-2.0%より大きく0%以下
 △ : 全国値に比べ0%より大きく+5%未満
 × : 全国値に比べ+5%以上

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域等	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 全国差	判定	無回答率 全国差	判定
			吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)	吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)				
2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る、疑問に思ったことの①に対する答えとして適切なものを選択する	読むこと	84.0	79.2	80.7	2.1	1.6	1.4	3.3	○	0.7	△
2一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に、疑問に思ったことの②に対する答えになるように考えて書く		79.9	72.0	75.9	5.0	6.0	5.0	4	○	0	
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する		89.1	86.9	88.5	5.2	4.7	4.2	0.6		1	△
3一	畳職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話すこと・聞くこと	84.4	79.0	81.3	4.7	4.1	3.4	3.1	○	1.3	△
3二	畳職人への【インタビューの様子】の「イ」の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する		72.4	64.9	67.4	5.9	5.1	4.2	5	◎	1.7	△
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、畳職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く		67.9	62.4	68.2	15.5	16.9	14.2	-0.3	△	1.3	△
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の「ウ」に入る適切なものを選択する(習うより慣れよ)	伝統的	74.2	70.0	73.0	10.6	9.7	7.9	1.2		2.7	△

*伝統的=伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

正答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ+5%以上
- : 全国値に比べ+2%以上+5%未満
- 無印 : 全国値に比べ0%以上+2%未満
- △ : 全国値に比べ-5%より大きく0%未満
- × : 全国値に比べ-5%以下

無解答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ-5%以下
- : 全国値に比べ-5.0%より大きく-2%未満
- 無印 : 全国値に比べ-2.0%より大きく0%以下
- △ : 全国値に比べ0%より大きく+5%未満
- × : 全国値に比べ+5%以上

【小学校 国語 本市正答率68.0%(全国値63.8%)】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、全ての領域で上回っている。

→★ 課題に対する手立て等

《全国値を下回った設問から見える課題》

話すこと・聞くこと領域

Pick up

【出題の趣旨】

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。

【設問3-三 正答率 吹田市 67.9%】
全 国 68.2% 大阪府 62.4%

無解答率が全国値を上回っている。条件を満たしながら提示された字数で記述する設問に課題がある。報告文にふさわしい表現で書くことができていない児童が1割。

- ★文末を統一して書く。
- ★常体、敬体の使用場面の違いなどに注意して書く。
- ★文章を互いに読みあい、文章の構成や書き方を工夫した点について交流したり、助言しあったりする学習活動を行う。

《正答率が5割以下の設問から見える課題》

書くこと領域

【出題の趣旨】

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。

【設問1-三 正答率 吹田市 32.7%】
全 国 28.8% 大阪府 25.9%

条件を満たしながら提示された字数で記述する設問に課題がある。

報告文にふさわしい表現ができなかった児童は1割。わかったことについて(1)と(2)両方から言葉や文を抜き出すことができなかった児童は3割。

- ★段落の要旨を表す一文を見つける学習を行う。
- ★「たり」や「また」を用い、二文を一文にする練習を行う。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【出題の趣旨】

学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。

【設問1-四 (1)ア正答率 吹田市 42.0%】
全 国 41.9% 大阪府 36.2%
【設問1-四 (1)ウ正答率 吹田市 50.6%】
全 国 35.6% 大阪府 29.3%

漢字の学習の仕方について考える必要がある。

- ★同音異義語について注意するなど漢字のもつ意味を考えて文や文章の中で正しく使うことができるような学習活動を取り入れる。
- ★文や文章を書く際には、学習した漢字を使う習慣が身につくようにする。
- ★漢字辞典を使って、漢字の読みや意味などを自分で調べる活動を積極的に取り入れる。

【出題の趣旨】

文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容をわけて書く。

【設問1-四(2) 正答率 吹田市 52.8%】
全 国 47.8% 大阪府 40.1%

接続語を使って、一文を二文に分けて書くことに課題がある。

- ★文の定義を理解し、構成に注意して書くためには次のように発達段階に応じた指導をする必要がある。
- (1・2年生) 文の中における主語と述語との関係に気づくこと。
- (3・4年生) 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。
- (5・6年生) 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

話すこと・聞くこと領域

【出題の趣旨】話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

【正答例】

・(特に、)自分が一人前になったと思わず、次こそはもっと良いものを作ろうと、挑戦し続けているところが心に残りました。(57字)

【解答のポイント】

岸さんの【直接聞いてみたいこと】に対する解答部分に着目し、条件を満たすように解答することが重要である。

児童質問紙では、解答時間が足りなかったと感じている児童が多く、終盤の設問に無解答率が高い傾向を考えると、十分な時間をかけられなかったことも考えられる。

複数の情報を読み取って解答しなければならない問題では、設問の要点を的確につかむ力が必要である。

【教科書での該当ページ】

5年 国語 銀河 P. 64
「きいて、きいて、きいてみよう」

3 岸さんは、町の広報紙に取り上げられていた要職の大谷さんも、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報紙の記事」を「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」

【広報紙の記事】

店主の大谷通さんは、十八歳のころに地元で書店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた製作りの伝統の扱五十一年間守り続けている。

部屋の床にすき間も隙差もなくびたりとおさまる畳を作らせたら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな隙差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにびたりとおさめることができる。

「私に比べて、畳はどでも絶力的なものです。だからこそ、五十一年間も職人続けることができたのです」と大谷さんは話す。

大谷さんの仕上げた畳

【直接聞いてみたいこと】

- 大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。
- 大谷さんがどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十一年間続けてきたのだろうか。

【インタビューの様子】

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報紙の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどを聞きたいと思います。よろしくお願ひします。

大谷さん そうですね、よろしく願ひします。

岸さん では、早速ですが、広報紙で大谷さんは、私にとって、畳はどでもりよくかものです」とおっしゃって、いましたね。どのようなことにみりよくがあると思われますか。

大谷さん そうですね、五十一年も職人をして、いまだに完々とした感ある仕上げはありませんが、だからこそ、自分一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、挑戦し続けているのです。これが、ずっと大切にしていることですから、お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

「特に、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、挑戦し続けているところが心に残りました。」

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

特別

※設問の原稿用紙は下書き用紙なので、読んでも読んでも構いません。解答は、原稿用紙に書きましょう。原稿の印から書きましょう。どちらのうで字を覚えて、読んでも構いません。

吹田市の子供たちの今後伸ばしたいところ

「話合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをまとめる場面で、国語の学習を活用する力」

今後の指導の取組に生かすこと

- ◇問題の要旨をとらえて、短時間で必要な情報を把握できるよう日頃から意識させた授業を行う。
- ◇登場人物の考えを要約する機会を増やす。
- ◇文の構成や接続語の役割を理解し、伝えたいことを条件にあわせて書く練習を行う。
- ◇同音異義語を取り扱い、活用する場面を増やす。

保護者と共に取り組むことができること

- ◇ニュースや新聞の情報が、何を伝えようとしているのか話し合ってみたり、身の回りにあるデータや資料の意図に意識をむけた会話をする。
- ◇日常生活の中で、時、場所、人に応じた話し方を意識するよう働きかける。
- ◇辞書を使って漢字の読みや意味を調べる習慣をつける。

◇すべての設問について、正答率は全国平均を上回り、概ね良好な結果であった。

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域等	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 全国差	判定	無解答率 全国差	判定
			吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)	吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)				
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したのとして適切なものを選択する	読むこと	68.6	60.9	63.9	0.1	0.2	0.1	4.7	○	0	
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する		65.2	58.4	61.5	0.1	0.2	0.1	3.7	○	0	
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く		91.7	88.2	91.2	1.6	2.4	1.7	0.5		-0.1	
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	伝統的	62.4	54.2	56.8	4.0	7.2	5.6	5.6	◎	-1.6	
2一	話し合いでの発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	話すこと・聞くこと	83.1	78.0	80.4	0.2	0.3	0.2	2.7	○	0	
2二	話し合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する		74.5	66.7	69.7	0.2	0.3	0.3	4.8	○	-0.1	
2三	話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く		63.2	56.0	60.4	7.6	11.3	8.9	2.8	○	-1.3	
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書くこと	88.2	86.8	87.4	0.3	0.4	0.4	0.8		-0.1	
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える		78.6	73.7	77.8	6.8	10.1	7.9	0.8		-1.1	
4	話の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	*伝統的	83.1	77.4	78.7	1.1	1.0	1.2	4.4	○	-0.1	

*伝統的=伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

正答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ+5%以上
- : 全国値に比べ+2%以上+5%未満
- 無印 : 全国値に比べ0%以上+2%未満
- △ : 全国値に比べ-5%より大きく0%未満
- × : 全国値に比べ-5%以下

無解答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ-5%以下
- : 全国値に比べ-5.0%より大きく-2%未満
- 無印 : 全国値に比べ-2.0%より大きく0%以下
- △ : 全国値に比べ0%より大きく+5%未満
- × : 全国値に比べ+5%以上

【中学校 国語 本市正答率76.0%(全国値72.8%)】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、全ての領域で上回っている。

→★ 課題に対する手立て等

《正答率が7割以下の設問から見える課題》

話すこと・聞くこと領域

Pick up

【出題の趣旨】

話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ。

【設問2-三 正答率 吹田市 63.2%】

全 国 60.4% 大阪府 56.0%

無解答率が全ての設問の中で最も高い。(7.6%)
条件に合わせて自分の考えを記述する力に課題がある。

→★日常生活における話合いの場面では、様々な異なる立場からの意見が出される。意見を広げたり一つにまとめたり、話合いの目的に沿って、方向性を捉え、話合う活動を行う。

→★話合いでの司会の役割を明確にし、途中で方向性を確認し目的に沿って話合えるようにする。

《正答率が7割以下の設問から見える課題》

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【出題の趣旨】

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
封筒の書き方を理解して書く。

【設問1-四 正答率 吹田市 62.4%】

全 国 56.8% 大阪府 54.2%

他者に手紙を書き、封筒に入れて投函するという経験が少なくなっている。

→★小学校中学年国語科(書写)に、言語活動の伝える活動として、「手紙の書き方」が位置付けられている。その後、中学校1年生の教科書には参考資料として「手紙・はがき・メールの書き方」について掲載されている。メールやSNSが急速に発展した今、手紙やはがきについて授業の中で取り組む機会を増やすことや、実際に手紙を書いて投函する等、実生活の場面で国語の学習を活用する取組を行う。

【表書き】

- 宛先の住所—中央よりやや右(横書きの場合は、やや上)に書く。
- 宛名—中央に住所よりやや大きめに書く。敬称は「様」が一般的。組織や団体に宛てる場合は、「御中」と書く。

【裏書】

- 差出人の住所と氏名—裏側の中央の下よりに、表書きよりも小さな字で書く。

話すこと・聞くこと領域

【出題の趣旨】話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つことができるかどうかをみる。

【正答例】

校内にある「土足禁止」という掲示物の表現をどうするのが決まっていますか。「禁止」を言い換えた言葉を一人ずつあげてみましょうか。

【解答のポイント】

- ① 話し合いの方向性を踏まえて、「どうするか決まっていないこと」とは何かを明確に書く。
- ② ①で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体案を書く。
- ③ 実際に話すように書く。

【教科書での該当ページ】
中学生の国語 1年 P.108
「討論ゲームをしよう」

2 第一中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(場面①から場面③は、連続した場面です。)

話し合いの一部

〈議題〉
地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために

一 生徒会が地域で行っていることについての展示
・高齢者向けの施設での交流会の様子
・地域の清掃活動の様子

二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらさを感じたり、段差に気付かずにつまづいたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしやいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん
山下さん

ネットにそのようなニュースが出ていますね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作りにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合わないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん
山下さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんのいうとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

場面③のAで山下さんは、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

- 条件①：話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていること」とは何かを明確にして書くこと
条件②：条件①で示した「どうするか決まっていないこと」を解決する具体的な案を考えて書くこと

吹田市の子供たちの今後伸ばしたいところ

「話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをまとめる場面で、国語の学習を活用する力」

今後の指導の取組に生かすこと

- ◇相手の意見を踏まえながら話すことや、相手の発言を聞いて自分の考えをまとめることを意識し、討論等を取り入れた授業展開を行う。
- ◇地域行事でお世話になった方々へ感謝の気持ちを手紙で伝える等、手紙の文化に触れる機会の充実を図る。

保護者と共に取り組むことができること

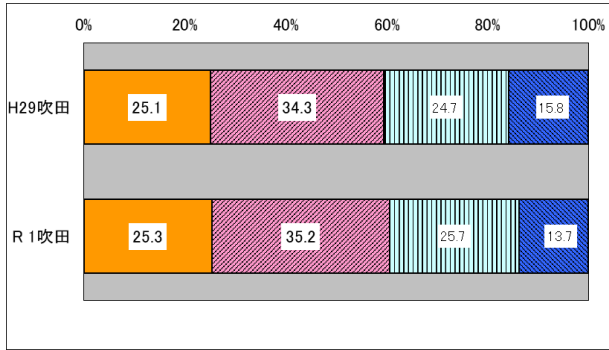
- ◇ニュースや子供たちの身近な事象について、様々な関係性の他者と、「自分の考えを持ち話し合う」機会を増やすように働きかける。
- ◇日常生活の中で、他者と思いを伝え合うツールとして、手紙を用いる機会をつくるように働きかける。

【国語】 児童・生徒質問紙より

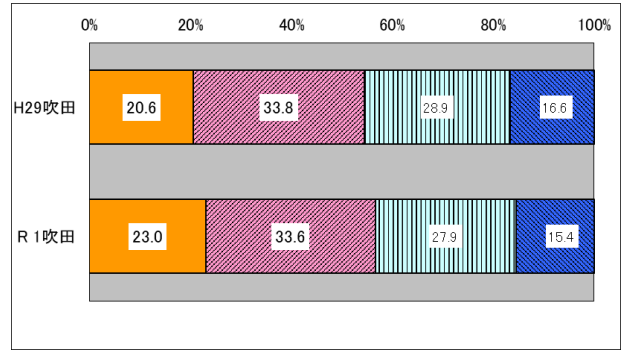
Q：国語の勉強は好きですか。

- ・肯定的回答率・・・小学生：60.5% (全国比-3.7%、H29比+1.1%)
 中学生：56.6% (全国比-5.1%、H29比+2.2%)

[小学校]



[中学校]



H29全国	25.5	35.0	25.4	14.0
H30全国				
R 1全国	26.5	37.7	24.3	11.5

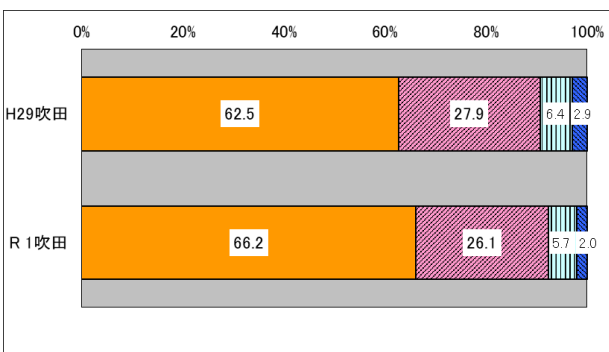
H29全国	23.8	36.7	26.5	12.9
H30全国				
R 1全国	24.6	37.1	26.4	11.9



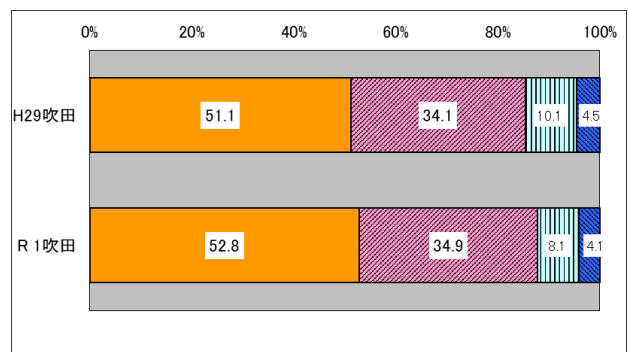
Q：国語の勉強は大切だと思いますか。

- ・肯定的回答率・・・小学生：92.3% (全国比-0.7%、H29比+1.9%)
 中学生：87.7% (全国比-3.3%、H29比+2.5%)

[小学校]



[中学校]



H29全国	65.7	25.5	5.9	2.8
H30全国				
R 1全国	68.6	24.4	5.1	1.9

H29全国	56.1	32.7	7.6	3.3
H30全国				
R 1全国	59.0	32.0	6.5	2.4

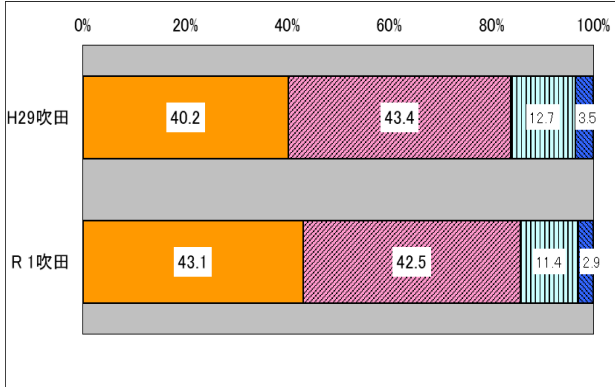


【国語】児童・生徒質問紙より

Q：国語の授業内容はよくわかりますか。

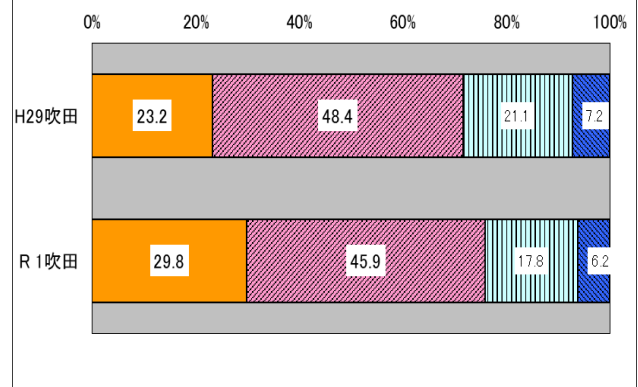
・肯定的回答率・・・小学生：85.6%（全国比+0.7%、H29比+2.0%）
 中学生：75.7%（全国比-1.9%、H29比+4.1%）

[小学校]



H29全国	38.9	43.3	13.3	4.3
H30全国				
R1全国	41.2	43.7	12.0	3.0

[中学校]



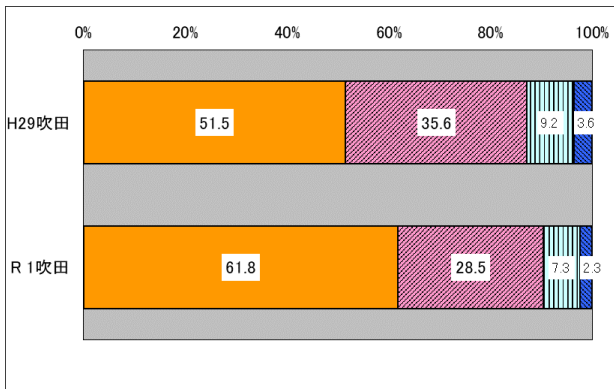
H29全国	26.8	48.1	19.2	5.6
H30全国				
R1全国	28.4	49.2	17.8	4.4

当てはまる どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

Q：国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

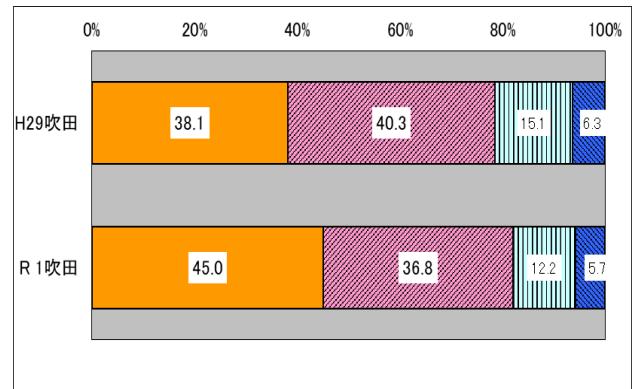
・肯定的回答率・・・小学生：90.3%（全国比-0.9%、H29比+3.2%）
 中学生：81.8%（全国比-6.2%、H29比+3.4%）

[小学校]



H29全国	55.7	32.2	8.7	3.1
H30全国				
R1全国	64.2	27.0	6.5	2.2

[中学校]



H29全国	44.7	38.6	12.3	4.1
H30全国				
R1全国	53.7	34.3	8.8	3.1

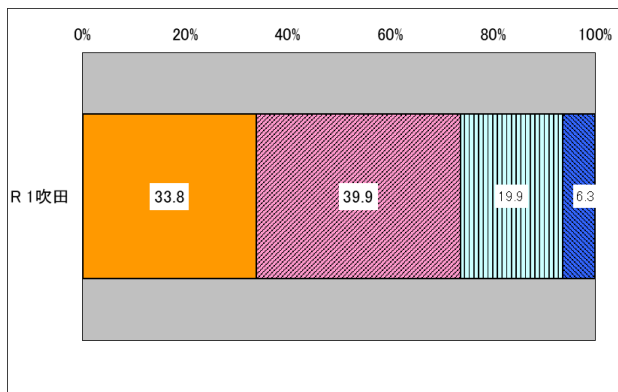
当てはまる どちらかといえば当てはまる どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

【国語】児童・生徒質問紙より

Q：国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。

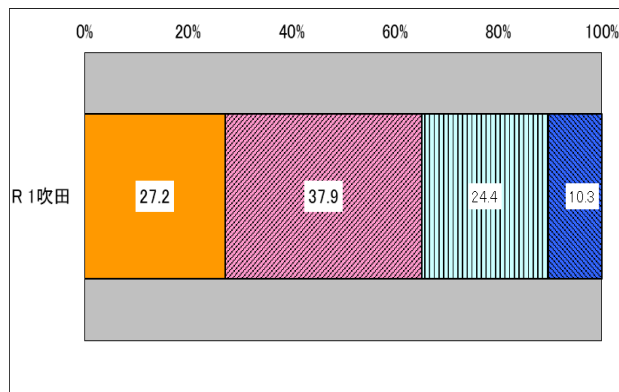
- ・肯定的回答率・・・小学生：73.7% (全国比-3.2%)
 中学生：65.1% (全国比-6.5%)

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	37.2	39.7	18.1	5.0

[中学校]



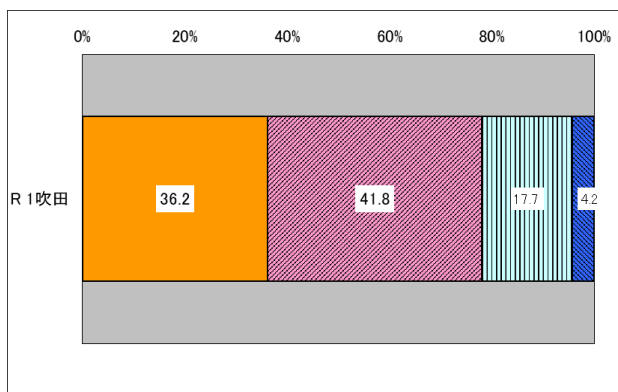
H29全国				
H30全国				
R 1全国	31.2	40.4	21.7	6.7

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか。

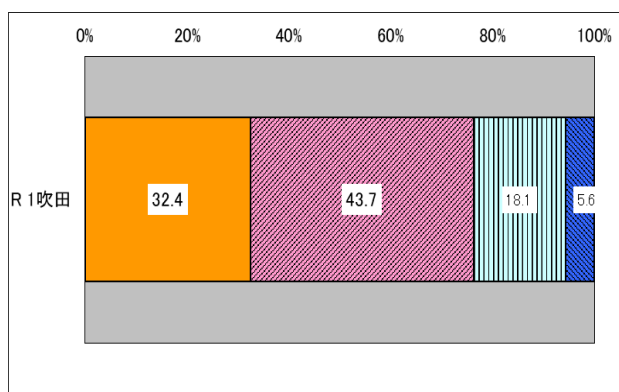
- ・肯定的回答率・・・小学生：78.0% (全国比-0.1%)
 中学生：76.1% (全国比-1.3%)

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	36.2	41.9	18.0	3.8

[中学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	32.5	44.9	18.1	4.4

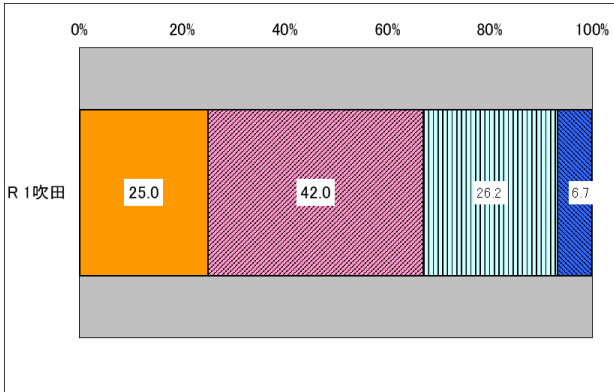
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【国語】児童・生徒質問紙より

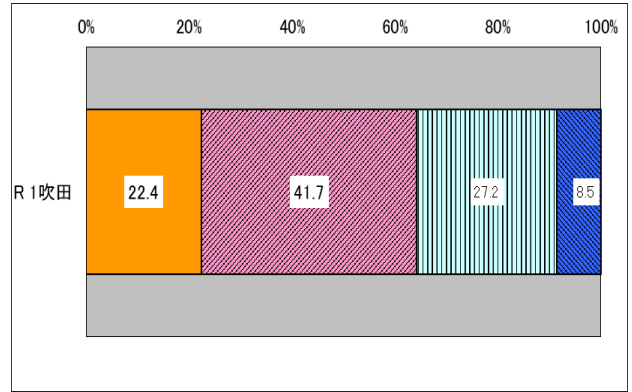
Q：国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか。

- ・肯定的回答率・・・小学生：67.0% (全国比-1.5%)
中学生：64.1% (全国比-0.3%)

[小学校]



[中学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	26.1	42.4	25.3	6.2

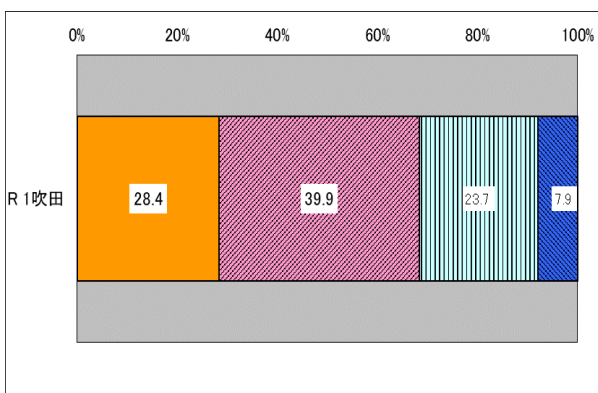
H29全国				
H30全国				
R 1全国	20.9	43.5	28.4	7.0

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

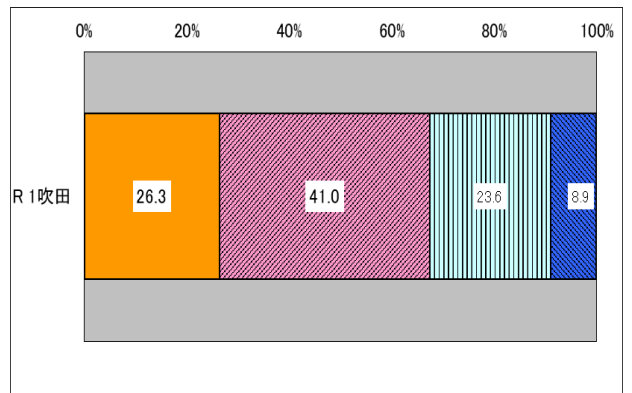
Q：国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。

- ・肯定的回答率・・・小学生：68.3% (全国比-3.1%)
中学生：67.3% (全国比-1.1%)

[小学校]



[中学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	30.3	41.1	22.4	6.2

H29全国				
H30全国				
R 1全国	25.2	43.2	24.6	6.8

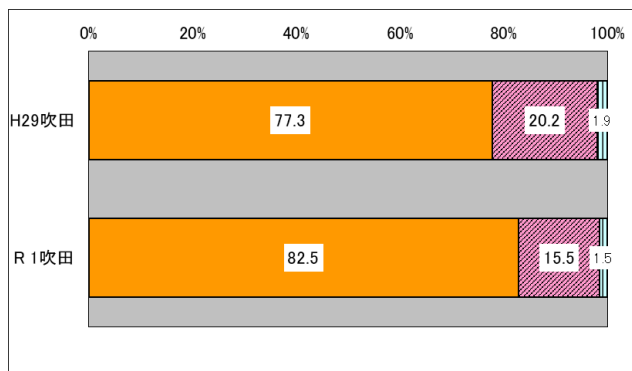
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【国語】児童・生徒質問紙より

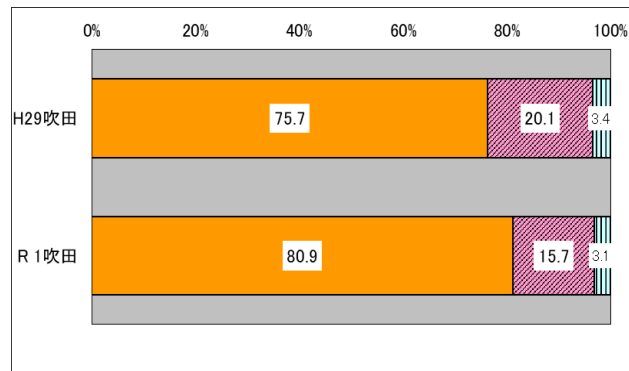
Q：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。（最後まで解答を書こうと努力しましたか。）

- ・肯定的回答率・・・小学生：82.5%（全国比+2.1%、H29比+5.2%）
中学生：80.9%（全国比+1.1%、H29比+5.2%）

[小学校]



[中学校]



H29全国	77.2	20.1	1.9
H30全国			
R1全国	80.4	17.4	1.7

H29全国	72.3	23.6	3.3
H30全国			
R1全国	79.8	17.2	2.7

- 全ての問題で最後まで書こうと努力した
- 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
- 書く問題は全く解答しなかった

国語について

現状及び経年変化

◇本市における正答率の全国比值（全国を100とした場合）は小・中学校ともに高い。
小学校 国語 106.6 中学校 国語 104.4

◇児童・生徒質問紙では、小・中学校ともにほぼすべての項目において、肯定的回答が全国値を下回っている。しかし、平成29年度比では、「国語の大切さ」「授業内容がよくわかるか」「将来役に立つか」という項目で小・中学校ともに向上が見られる。

◇小・中学校ともに全国値を大きく下回った質問は、以下の2項目であった。

- Q：国語の勉強は好きですか。
- Q：国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり読んだりするときに活用したりしていますか。

改善・向上のために

- ◆「スピーチ」「プレゼンテーション」「討論」等を取り入れる等、国語の学習を実生活の場面で活用する力を意識した授業づくりが必要である。また、学級活動や学校行事の際に、話し合い活動を意識的に取り入れ、言語活動を充実させることも重要である。
- ◆学校図書館等の利用の推進や、文学作品に触れる機会を増やすための働きかけを行い、児童・生徒の「国語」に対する興味関心を高めるための取組を計画的に実施する。

【問題別分析 小学校 算数】

◇すべての設問について、正答率は全国平均を上回り、良好な結果であった。

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 全国差	判定	無回答率 全国差	判定
			吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)	吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)				
1(1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	図形	94.3	92.9	93.1	0.1	0.1	0.1	1.2		0	
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ		66.5	59.2	60.3	0.4	0.7	0.6	6.2	◎	-0.2	
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	量と測定	51.1	43.0	43.9	4.8	7.1	6.7	7.2	◎	-1.9	
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	数量関係(数と計算等含む)	95.8	95.1	95.2	0.1	0.3	0.2	0.6		-0.1	
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く		87.3	79.1	78.6	0.5	1.0	1.0	8.7	◎	-0.5	
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く		64.3	50.8	52.1	1.5	2.1	2.0	12.2	◎	-0.5	
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水量を求めるため $6 + 0.5 \times 2$ を計算する		66.0	59.6	60.1	0.6	1.0	1.0	5.9	◎	-0.4	
3(1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	数と計算(数量関係含む)	87.2	82.6	81.8	0.6	1.0	0.9	5.4	◎	-0.3	
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなになるのかを書く		37.3	29.5	31.1	8.2	11.6	10.8	6.2	◎	-2.6	○
3(3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する		81.7	75.0	74.9	1.3	2.1	2.1	6.8	◎	-0.8	
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ		53.5	48.9	47.0	1.8	2.1	2.2	6.5	◎	-0.4	
4(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	数量関係	88.3	82.7	82.7	1.5	1.7	1.7	5.6	◎	-0.2	
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く	数と計算	76.6	69.2	68.6	3.2	4.5	4.4	8	◎	-1.2	
4(3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	量と測定	70.5	62.1	62.6	3.2	3.5	3.5	7.9	◎	-0.3	

正答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ+5%以上
- : 全国値に比べ+2%以上+5%未満
- 無印 : 全国値に比べ0%以上+2%未満
- △ : 全国値に比べ-5%より大きく0%未満
- × : 全国値に比べ-5%以下

無解答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ-5%以下
- : 全国値に比べ-5.0%より大きく-2%未満
- 無印 : 全国値に比べ-2.0%より大きく0%以下
- △ : 全国値に比べ0%より大きく+5%未満
- × : 全国値に比べ+5%以上

【小学校 算数 本市正答率73.0%(全国値66.6%)】

「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、全ての領域で上回っている。

→★ 課題に対する手立て等

《正答率が6割以下の設問から見える課題》

数と計算領域

Pick up

【出題の趣旨】

示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。

【設問3(2) 正答率 吹田市 37.3%】
全 国 31.3% 大阪府 29.5%

問題文に示された【ゆいなさんがまとめこと】と同様に、提示された3つの言葉を用いて記述することを求められているが、問題の趣旨を正しく読み取ることによって課題がある。

- ★問題文をよく読み、どのような解答の仕方が求められているのかを読み解く時間を持つ。
- ★単元のまとめの授業において、キーワードを提示し、学びの履歴を記述で残す活動を取り入れる。

量と測定領域

【出題の趣旨】

示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。

【設問1(3) 正答率 吹田市 51.1%】
全 国 43.9% 大阪府 43.0%

問題文を読み、何が正答の条件になるのかを読み取り、記述することが求められる。

本問では、1つの式と2つの数についての説明が正答の条件となるが、この3つを満たすことができなかった児童が3割。問題の趣旨を正しく読み取ることができない児童も3割見られた。

- ★問題文をよく読み、どのような解答の仕方が求められているのかを読み解く時間を持つ。
- ★単元のまとめの授業において、式や言葉を提示し、学びの履歴を記述で残す活動を取り入れる。

数量関係領域

【出題の趣旨】

示された除法の式の意味を理解している。

【設問3(4) 正答率 吹田市 53.5%】
全 国 47.0% 大阪府 48.9%

除法における計算の工夫（被除数と除数に同じ数をかけても割っても商は変わらない）を表した式の意味が正しく理解できていない。

- ★加法や減法の計算の工夫の学習との系統を意識し、式の意味を説明し合う活動を取り入れる。
- ★除法の意味には等分除と包含除の2種類があることを理解し、単位量当たりの学習で何を問われているのか理解して立式できるように指導する。

Pick up

【設問③】(2) 正答率 吹田市 37.3%

全国 31.3% 大阪府 29.5%

資料の整理領域

【出題の趣旨】示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。

3

ゆいさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいさんがまとめたこと】

ひき算では、
ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{ccc} 400 \div 25 = \square & & \\ \downarrow \times 4 & \downarrow \times 4 & \nearrow \text{変わらない} \\ 1600 \div 100 = 16 & & \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16 です。

$$\begin{array}{ccc} 90 \div 18 = \square & & \\ \downarrow \div 9 & \downarrow \div 9 & \nearrow \text{変わらない} \\ 10 \div 2 = 5 & & \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5 です。

【教科書での該当ページ】

4年 新しい算数 上
P. 113
「わり算の筆算 わり算のせいしつ」

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の□の中、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

【正答例】

・わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数でわっても、商は変わりません。

【解答のポイント】

ひき算の計算の仕方について、ゆいさんがまとめたことをもとに、わり算の計算の仕方についてまとめる。

ことねさんの計算の仕方を見ると、同じ数をかけても、わっても商はかわらないことがわかる。

吹田市の子供たちの今後伸ばしたいところ

「日常生活や数学の学習における事象を、算数用語を用いて説明する力」

今後の指導の取組に生かすこと

- ◇単に計算の仕方を覚えて習熟に力を入れるだけでなく、図や数式、言葉などの決められた条件を基にして、求め方を文に表す機会を増やす。
- ◇児童に求め方を説明させたり、他の児童の考えを代わりに説明させたりし、式の意味を理解する力を養う。

保護者と共に取り組むことができること

- ◇日常生活の中で、物事の様子や答えの求め方を自分の言葉で説明する。
- ◇説明することが苦手な児童にはヒントとなる言葉を示し、つなげて文章にする練習をする。
- ◇子供に説明させる問いかけを意識的に使う。
「どうやって解いたの?」「なぜそう考えたの?」「どうしたら求められるの?」「選んだ訳は?」

【問題別分析 中学校 数学】

◇すべての設問について、正答率は全国平均を上回り、良好な結果であった。

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域	正答率(%)			無解答率(%)			正答率 全国差	判定	無解答率 全国差	判定
			吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)	吹田市	大阪府 (公立)	全国 (公立)				
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数と式	67.0	60.8	62.2	0.1	0.2	0.2	4.8	○	-0.1	
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く		80.8	69.3	70.1	2.9	6.0	5.1	10.7	◎	-2.2	○
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	図形	86.5	83.0	83.6	0.5	1.0	0.7	2.9	○	-0.2	
4	反比例の表から式を求める	関数	58.0	46.3	48.9	7.4	11.9	10.4	9.1	◎	-3	○
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	資料の活用	74.7	71.1	72.8	2.5	4.1	3.3	1.9		-0.8	
6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差を表すものを選ぶ	関数	48.9	39.4	38.8	0.3	0.4	0.3	10.1	◎	0	
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する		43.8	33.1	34.7	10.8	13.8	11.6	9.1	◎	-0.8	
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	図形	84.6	75.1	75.8	3.3	6.6	5.2	8.8	◎	-1.9	
7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ		80.1	75.4	77.2	0.4	0.6	0.5	2.9	○	-0.1	
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する		60.2	51.5	53.3	14.2	20.6	17.6	6.9	◎	-3.4	○
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料の活用	63.9	53.3	57.9	9.5	13.3	10.6	6	◎	-1.1	
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する		44.4	40.1	40.8	19.1	25.8	21.3	3.6	○	-2.2	○
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ		58.0	50.7	53.6	1.0	1.1	1.0	4.4	○	0	
9(1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	数と式	68.6	56.0	57.4	7.7	11.2	9.5	11.2	◎	-1.8	
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する		67.3	57.9	59.7	12.7	20.3	17.8	7.6	◎	-5.1	◎
9(3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ		76.7	69.0	69.6	1.7	1.6	1.9	7.1	◎	-0.2	

正答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ+5%以上
- : 全国値に比べ+2%以上+5%未満
- 無印 : 全国値に比べ0%以上+2%未満
- △ : 全国値に比べ-5%より大きく0%未満
- × : 全国値に比べ-5%以下

無解答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ-5%以下
- : 全国値に比べ-5.0%より大きく-2%未満
- 無印 : 全国値に比べ-2.0%より大きく0%以下
- △ : 全国値に比べ0%より大きく+5%未満
- × : 全国値に比べ+5%以上

【中学校 数学 本市正答率 66.0%(全国値 59.8%)】

「数と式」「図形」「関数」「資料の整理」の領域ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、全ての領域で上回っている。

→★ 課題に対する手立て等

《正答率が5割以下の設問から見える課題》

関数領域

【出題の趣旨】

グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。

【設問6(1) 正答率 吹田市 48.9%
全 国 38.8% 大阪府 39.4%

関数領域

【出題の趣旨】

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。

【設問6(2) 正答率 吹田市 43.8%
全 国 34.7% 大阪府 33.1%

資料の整理領域

Pick up

【出題の趣旨】

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

【設問8(2) 正答率 吹田市 44.4%
全 国 40.8% 大阪府 40.1%

⑥(1)

2点のy座標の差が何を表すのかを問われているが、「差」という言葉に注目できずに解答した生徒が4割で誤答の8割を占めている。

⑥(2)

式かグラフのどちらを使うのか(ア、イのどちらかを選択して、それを使い解答を記述で行う)の記述がない生徒が3割を占めている。

⑥(1)(2)ともに問題文を読み解く力に課題が見られる。

→★問題を読み、何を問われているのかを読み解く力をつける必要がある。

説明はするが、結論を記述できていない生徒が1割、ヒストグラムの特徴から解答できなかった生徒が2割、無解答が2割いる。様々な事象から見出される確率や統計に関するデータを生活の中で活用することに課題がある。

→★小学校では、6年生で学習する「ドットプロット・代表値・階級」を、中学校では、1年生で学習する「ヒストグラム」、2年生の学習に新しく追加された「四分位範囲・箱ひげ図」を用いて、考えたり判断したりする学習を重視することが大切となる。

→★算数用語・数学用語を用いて日常での事象を説明できるようにする。

《その他に課題の見られる設問》

関数領域

【出題の趣旨】

反比例の表から、xとyの関係を式で表すことができる。

【設問4 正答率 吹田市 58.0%
全 国 48.9% 大阪府 46.3%

反比例の式を問う設問に対して、比例や一次関数と解答している生徒が2割を超えており、関数領域における反比例の数学的な技能に課題がある。

→★小学校では、比例の表、式、グラフと対比させながら反比例を理解し、比例、反比例の見方・考え方をしっかりと身につけさせる。中学校では、小学校で学習した比例・反比例を関数として捉える。

→★自分が立式した数式を、表にある数値を代入して成立するかどうか確認する。

Pick up

【設問8】(2) 正答率 吹田市 44.4%】全 国 40.8% 大阪府 40.1%

資料の整理領域

【出題の趣旨】資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

【正答例】

○①1日あたりの読書量である26分は山の頂上の位置にはないので、③1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

○②度数が最大となる階級は10分以上20分未満の階級であるので、③1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

【補足】

- ①ヒストグラムの山の形から矛盾を見つける
- ②階級の度数から矛盾を見つける
- ③結論を述べる
- ※①③の組合せや②③の組合せで正答となる

【解答のポイント】

問題で示されているヒストグラムの形状や階級の度数などに着目することによって見つけた矛盾を、数学用語を用いて表現する力が必要である。

また、理由などを説明する設問では、問題の意図を正しく読み解き、問われている内容にあった結論を書くことができる力も必要である。

【教科書での該当ページ】

1年 中学数学①

P. 236

「数学の探検 代表値の活用」

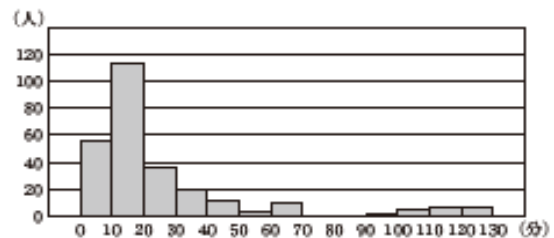
8

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」

桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

吹田市の子供たちの今後伸ばしたいところ

「日常生活や数学の学習における事象を、数学用語を用いて説明する力」

今後の指導の取組に生かすこと

- ◇各単元において、数学用語の意味を理解させ、数学用語を用いて単元内容をまとめる授業を行う。
- ◇具体的な文章を、図や表を用いて、数式に変化させる活動を積極的に授業に取り入れる。
- ◇日常生活における事象を、生徒自身が数学的に分析し、説明する活動を増やす。

保護者と共に取り組むことができること

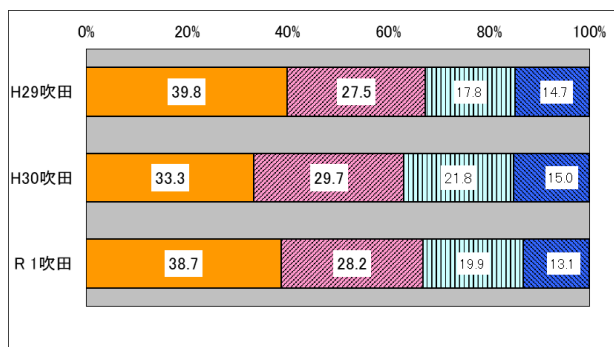
- ◇数学の学習内容についての質問や、ニュースや新聞で取り上げられている数学に関係する話題を紹介など、数学に触れ、子供たちが興味を持つ機会を増やす。
- ◇家庭学習を行う習慣をつけ、学校などの宿題や課題を、保護者が一緒になって取り組むことができる機会を設ける。

【算数・数学】児童・生徒質問紙より

Q：算数・数学の勉強は好きですか。

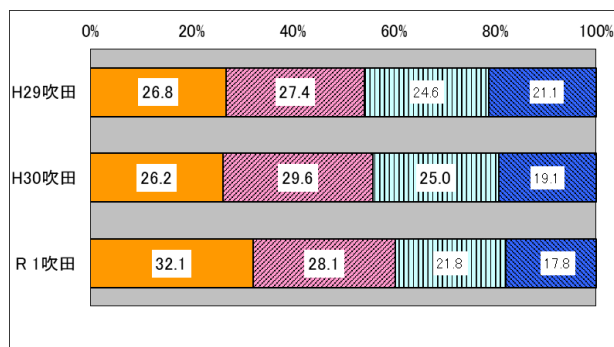
- ・肯定的回答率・・・小学生：66.9% (全国比-1.7%、前回比+3.9%、H29比-0.4%)
中学生：60.2% (全国比+2.3%、前回比+4.4%、H29比+6.0%)

[小学校]



H29全国	38.5	27.4	19.3	14.5
H30全国	33.9	30.1	21.7	14.2
R 1全国	40.6	28.0	18.7	12.7

[中学校]



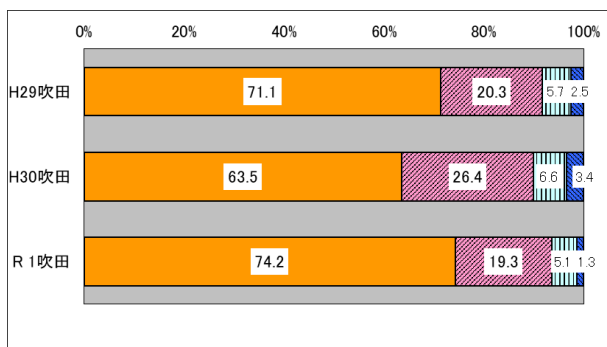
H29全国	28.6	26.8	24.6	19.8
H30全国	25.7	28.2	26.6	19.5
R 1全国	30.7	27.2	23.9	18.1

当てはまる (orange) どちらかといえば当てはまる (pink) どちらかといえば当てはまらない (green) 当てはまらない (blue)

Q：算数・数学の勉強は大切だと思いますか。

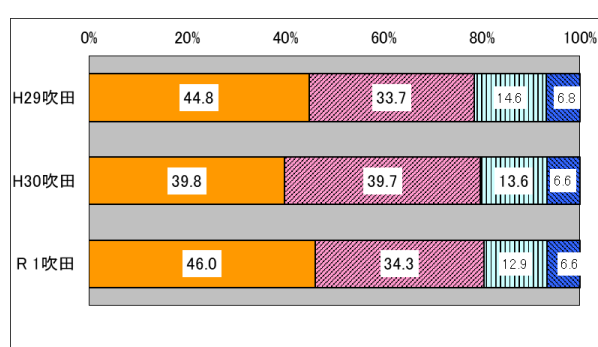
- ・肯定的回答率・・・小学生：93.5% (全国比-0.2%、前回比+3.6%、H29比+2.1%)
中学生：80.3% (全国比-3.9%、前回比+0.8%、H29比+1.8%)

[小学校]



H29全国	72.9	19.1	5.0	2.7
H30全国	67.3	24.8	5.5	2.3
R 1全国	75.6	18.1	4.3	1.9

[中学校]



H29全国	47.7	33.4	12.7	5.9
H30全国	45.9	37.7	11.6	4.7
R 1全国	49.8	34.4	11.2	4.5

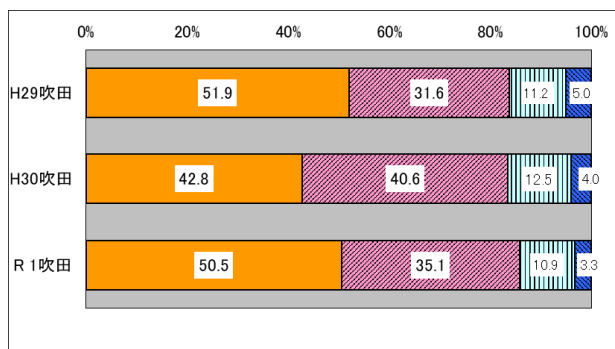
当てはまる (orange) どちらかといえば当てはまる (pink) どちらかといえば当てはまらない (green) 当てはまらない (blue)

【算数・数学】児童・生徒質問紙より

Q：算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

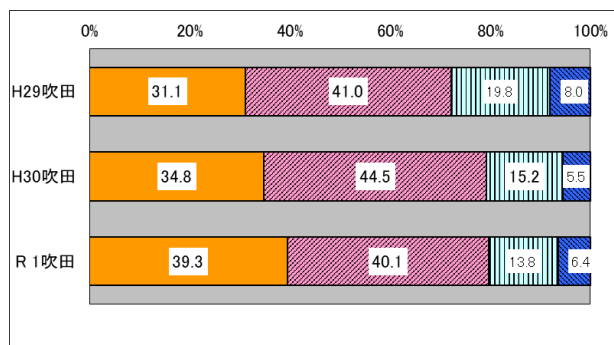
- ・肯定的回答率・・・小学生：85.6% (全国比+2.1%、前回比+2.2%、H29比+2.1%)
中学生：79.4% (全国比+5.5%、前回比+0.1%、H29比+7.3%)

[小学校]



H29全国	47.6	33.0	13.7	5.5
H30全国	42.1	41.3	12.8	3.7
R 1全国	49.3	34.2	12.4	4.1

[中学校]



H29全国	31.5	37.9	20.9	9.4
H30全国	28.2	42.8	21.4	7.4
R 1全国	34.8	39.1	18.6	7.3

当てはまる

 どちらかといえば当てはまる

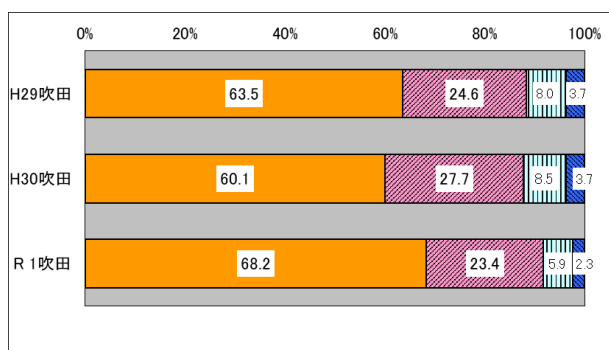
 どちらかといえば当てはまらない

 当てはまらない

Q：算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

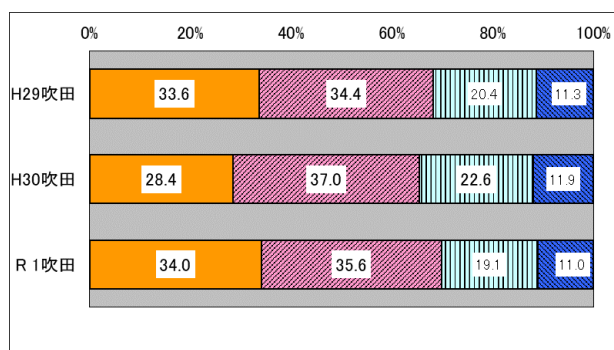
- ・肯定的回答率・・・小学生：91.6% (全国比-0.9%、前回比+3.8%、H29比+3.5%)
中学生：69.6% (全国比-6.6%、前回比+4.2%、H29比+1.6%)

[小学校]



H29全国	66.7	22.4	7.5	3.2
H30全国	65.5	24.8	7.0	2.6
R 1全国	72.3	20.2	5.4	2.0

[中学校]



H29全国	37.7	34.7	18.6	8.7
H30全国	34.9	38.0	18.8	8.2
R 1全国	40.3	35.9	16.5	7.1

当てはまる

 どちらかといえば当てはまる

 どちらかといえば当てはまらない

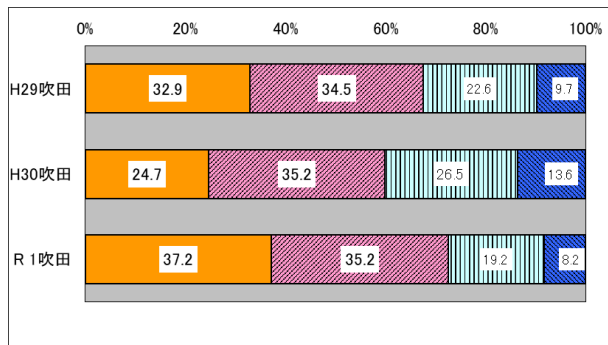
 当てはまらない

【算数】児童・生徒質問紙より

Q：算数の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考えますか。

・肯定的回答率・・・小学生：72.4% (全国比-4.1%、前回比+12.5%、H29比+5.0%)

[小学校のみ]



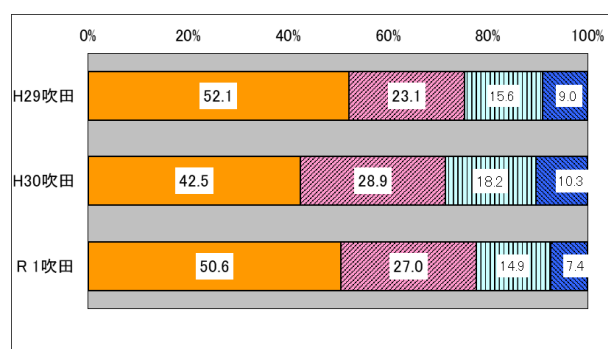
H29全国	35.6	33.5	21.8	8.8
H30全国	28.5	35.9	24.6	10.9
R 1全国	41.4	35.1	17.3	6.2



Q：算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか。

・肯定的回答率・・・小学生：77.6% (全国比-1.5%、前回比+6.2%、H29比+2.4%)

[小学校のみ]



H29全国	50.3	25.4	15.5	8.6
H30全国	44.4	29.9	17.5	8.1
R 1全国	51.7	27.4	14.2	6.7

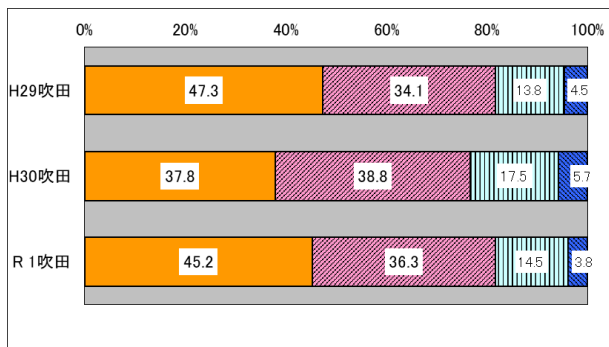


【算数】児童・生徒質問紙より

Q：算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

・肯定的回答率・・・小学生：81.5% (全国比-0.5%、前回比+4.9%、H29比+0.1%)

[小学校のみ]



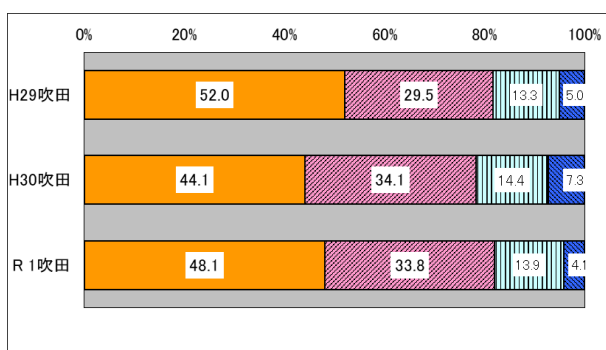
H29全国	46.0	35.1	14.3	4.3
H30全国	39.7	38.7	16.4	5.0
R1全国	46.3	35.7	14.0	3.9



Q：算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

・肯定的回答率・・・小学生：81.9% (全国比-0.2%、前回比+3.7%、H29比+0.4%)

[小学校のみ]



H29全国	49.2	32.2	13.5	4.8
H30全国	44.2	34.3	15.7	5.7
R1全国	47.7	34.4	13.9	4.0

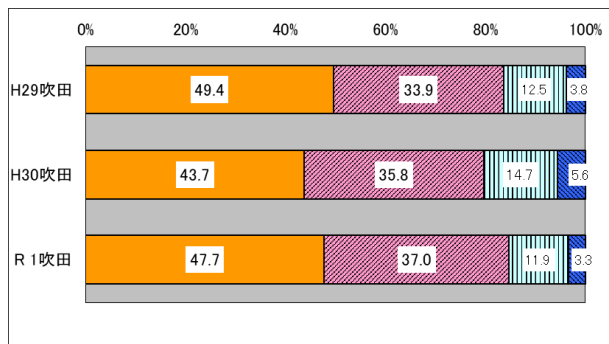


【算数】児童・生徒質問紙より

Q：算数の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけを理解するようにしていますか。

・肯定的回答率・・・小学生：84.7%（全国比+0.7%、前回比+5.2%、H29比+1.4%）

[小学校のみ]



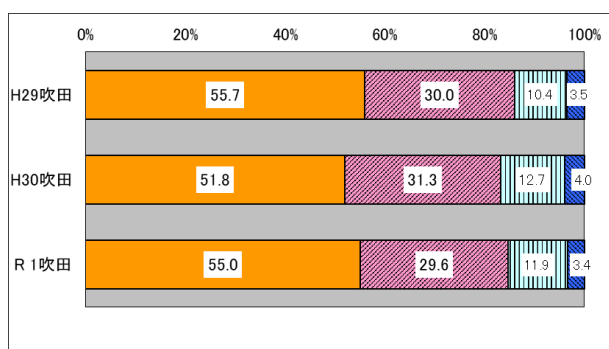
H29全国	48.2	34.4	13.2	3.9
H30全国	43.7	36.7	14.9	4.5
R1全国	48.4	35.6	12.7	3.2



Q：算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

・肯定的回答率・・・小学生：84.6%（全国比-2.4%、前回比+1.5%、H29比-1.1%）

[小学校のみ]



H29全国	57.0	29.0	10.4	3.2
H30全国	56.8	29.0	10.5	3.5
R1全国	57.5	29.5	10.1	2.8

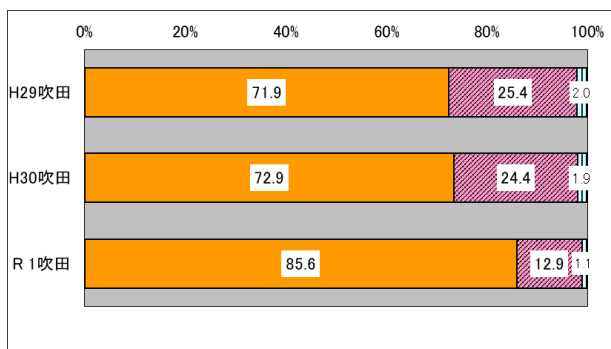


【算数・数学】児童・生徒質問紙より

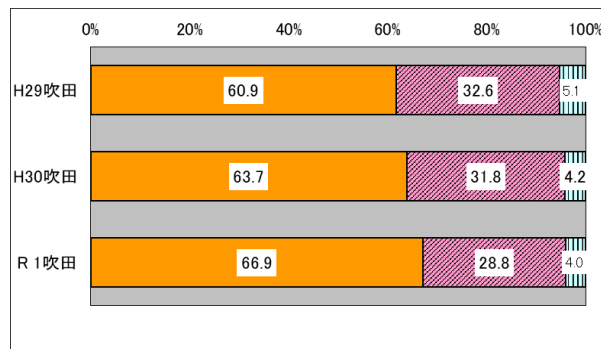
Q：今回の算数・数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。

- ・肯定的回答率・・・小学生：85.6%（全国比+4.9%、前回比+12.7%、H29比+13.7%）
中学生：66.9%（全国比+6.1%、前回比+3.2%、H29比+6.0%）

[小学校]



[中学校]



H29全国	69.9	27.1	2.1
H30全国	70.6	26.9	1.8
R 1全国	80.7	17.6	1.3

H29全国	55.4	37.9	5.3
H30全国	55.5	39.6	4.7
R 1全国	60.8	34.7	4.2

全ての問題で最後まで書こうと努力した
 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
 書く問題は全く解答しなかった

算数・数学について

現状及び経年変化

◇本市における正答率の全国比值（全国を100とした場合）は小・中学校ともに非常に高い。
小学校 算数 109.6 中学校 数学 110.4

◇児童・生徒質問紙では、小学校の多くの項目、中学校の一部の項目において、肯定的回答が全国値を下回っているが、吹田市の前年度比、平成29年度比では、ほぼすべての項目において上回っている。

◇小・中学校ともに全国値を下回った質問は、以下の2項目であった。

Q：算数・数学の勉強は大切だと思いますか。

Q：授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

上記2項目を含め、肯定的回答をした児童・生徒の割合は、小学校から中学校までの3年で減少する傾向があり、年齢が上がるにつれて数学に対する苦手意識を持つようになり、生活や将来に役立つと思う意識は希薄になっている。

改善・向上のために

◆正答を得るための知識や技能の習得、それらの知識や技能の活用する力あるものの、日常生活や社会と算数・数学の関連性などについての知識は少なく、事象を数学的に表現することに課題がある。そのため、日常生活や社会の中に算数・数学が活用されていることを紹介し、算数用語・数学用語を用いて説明させることによって、算数・数学に興味を持たせるような学習活動を行うことが必要である。

【問題別分析 中学校 英語】

◇ほとんどの設問について、正答率は全国平均を上回り、概ね良好な結果であったが、「聞くこと」の領域の設問の一部に課題が見られた。

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域	正答率(%)			無解答率(%)			正答率(%)		無解答率(%)	
			吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)	吹田市	大阪府(公立)	全国(公立)	正答率全国差	判定	無解答率全国差	判定
1(1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	聞くこと	94.3	89.9	91.1	0.2	0.2	0.2	3.2	○	0	
1(2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する		88.5	85.6	88.6	0.2	0.2	0.1	-0.1	△	0.1	△
1(3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する		77.6	71.9	72.3	0.3	0.2	0.2	5.3	◎	0.1	△
1(4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する		66.8	61.5	61.8	0.3	0.2	0.2	5	◎	0.1	△
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える		70.1	71.0	71.8	0.1	0.2	0.2	-1.7	△	-0.1	
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する		83.3	80.7	82.0	0.2	0.2	0.2	1.3		0	
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く		9.3	6.9	7.6	41.2	43.2	42.3	1.7		-1.1	
5(1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する		読むこと	84.8	79.1	79.4	0.2	0.2	0.2	5.4	◎	0
5(2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	78.5		73.4	74.4	0.2	0.3	0.2	4.1	○	0	
5(3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	77.8		72.5	73.1	0.4	0.5	0.4	4.7	○	0	
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	71.9		61.6	62.9	0.4	0.4	0.4	9	◎	0	
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	34.1		32.9	32.8	0.8	0.9	1.0	1.3		-0.2	
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	14.2		12.0	10.9	23.3	30.0	27.9	3.3	○	-4.6	○
9(1)①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	86.1		78.9	79.9	0.3	0.4	0.3	6.2	◎	0	
9(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	73.5		60.3	58.2	0.5	0.6	0.5	15.3	◎	0	
9(2)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	書くこと	81.1	72.6	73.6	2.9	5.8	4.4	7.5	◎	-1.5	
9(2)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く		46.2	33.5	28.9	8.4	13.5	12.6	17.3	◎	-4.2	○
9(3)①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く		70.2	55.4	53.5	3.8	7.9	6.4	16.7	◎	-2.6	○
9(3)②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く		42.3	35.9	32.9	5.9	11.1	9.3	9.4	◎	-3.4	○
9(3)③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く		51.7	40.9	37.4	7.3	12.1	10.5	14.3	◎	-3.2	○
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く		3.0	1.9	1.8	6.6	10.0	8.3	1.2		-1.7	

正答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ+5%以上
- : 全国値に比べ+2%以上+5%未満
- 無印: 全国値に比べ0%以上+2%未満
- △ : 全国値に比べ-5%より大きく0%未満
- × : 全国値に比べ-5%以下

無解答率の判定記号について

- ◎ : 全国値に比べ-5%以下
- : 全国値に比べ-5.0%より大きく-2%未満
- 無印: 全国値に比べ-2.0%より大きく0%以下
- △ : 全国値に比べ0%より大きく+5%未満
- × : 全国値に比べ+5%以上

(参考値)

*各校の平均値を市として平均したものです。

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域	正答率(%)		無解答率(%)		正答率 全国差	判定	無解答率 全国差	判定
			吹田市	全国 (国公立)	吹田市	全国 (国公立)				
1(1)	カレンダーを見て、少女の誕生日を答える	話すこと	28.9	27.3	6.7	8.6	1.6		-1.9	
1(2)	テレビを見ている2人の子供の絵を見て、何をしているのか答える		49.5	44.7	3.0	6.6	4.8	○	-3.6	○
1(3)	バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える		32.4	25.7	3.7	7.0	6.7	◎	-3.3	○
2	ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする		15.2	10.5	14.1	20.7	4.7	○	-6.6	◎
3	海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみたいこと等を話す		45.8	45.8	1.5	4.6	0	△	-3.1	○

【中学校 英語 本市正答率62.0%(全国値56.0%)】

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域ごとの平均正答率を全国の結果と比較すると、全ての領域で上回っている。

→★ 課題に対する手立て等

《全国値を下回った設問から見える課題》

聞くこと領域

【出題の趣旨】

まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる。

【設問2 正答率 吹田市 70.1%】
全 国 71.8% 大阪府 71.0%

イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える設問において、全国値より1.7%下回っており、聞いて概要を捉えることに課題が見られる。

→★一つひとつの語や文の意味など特定の部分のみとらわれることなく、全体を通してどのような話のあらましになっているのかをとらえた、コミュニケーションを行う。目的や場面状況に応じた聞き取り方を身につける学習活動を行う。

《正答率が5割以下の設問から見える課題》

読むこと領域

【出題の趣旨】

まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。

【設問7 正答率 吹田市 34.1%】
全 国 32.8% 大阪府 32.9%

説明文を読み、その前後の対話文を参考にしながら、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえられず解答している割合がそれぞれの選択肢で2割程度いる。

→★複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何であるかを判断する学習を取り入れる。
→★コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、そうした読み取り方を身につける学習活動を行う。

【出題の趣旨】

書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる。

【設問8 正答率 吹田市 14.2%】
全 国 10.9% 大阪府 12.0%

読んだことを基にして書くという技能統合の設問で、「趣旨から大きく外れている」、「資料の内容を理解できていない」と考えられる解答が45.2%である。また、自分の考えを示すために必要な表現が身につけていないか、資料の内容が理解できていないとえられる解答が15.4%、無解答も23.3%である。

→★読んだ後に感想や意見、賛否、また、その理由を示すことを念頭に置いて、話の内容や書き手の意見などを主体的にとらえる学習を取り入れる。

書くこと領域

Pick up

【出題の趣旨】

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

【設問10 正答率 吹田市 3.0%】
全 国 1.8% 大阪府 1.9%

自分の考えに加えてその理由を述べ、2つの案の対比を通して、理由を明らかにしながら、自分の考えを書くことに課題がある。

→★自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

→★小学校との学びの連続性を図りつつ、身近な話題について理解したり表現したりするコミュニケーションを図ることができるようにし、文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う学習を充実させることが望まれる。

書くこと領域

【出題の趣旨】与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

【正答例】

• I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library. (32words)

【解答のポイント】

与えられたテーマについて考えを整理し、2つの案を対比させながら、理由を明らかにし、まとまりのある文章を的確な英語で書くことができる力が必要である。

自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く力が必要である。どちらの案を支持するのか立場を明らかにし、主張に一貫性を持たせる力が必要である。

【教科書の該当ページ】

NEW CROWN 2
P. 65 Tips for Writing3
P. 77 Tips for Writing4

10

海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

【A】



【B】



※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (、や ? など) は語数に含めません。

(例) No. I'm not. 【3語】

吹田市の子供たちの今後伸ばしたいところ

「話合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをまとめる場面で、英語の学習を活用する力」

今後の指導の取組に生かすこと

- ◇他教科での学習内容、学校生活における活動、地域行事、生徒の体験等と関連づけることで、文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を中心とする授業を構成する。
- ◇教科書を活用し、発話を英語で行う等、一層の取組みを推進する。

保護者と共に取り組むことができること

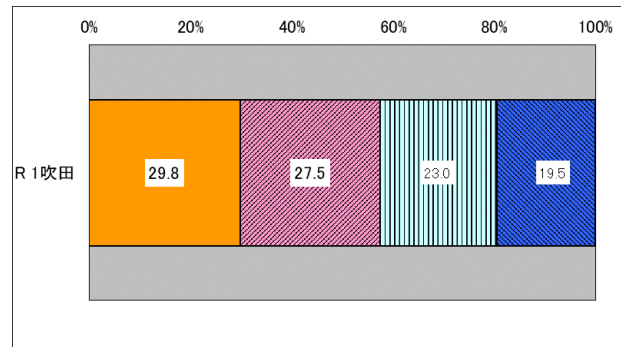
- ◇外国語に限らず、相手の意見に耳を傾けるとともに、自分の考えや意思を表現し、積極的にコミュニケーションを図る態度が育成できるよう、働きかける。
- ◇ラジオ英会話の活用、映画等の字幕での視聴等、活きた英語を聴く機会を増やすように働きかける。

【英語】生徒質問紙より

Q：英語の勉強は好きですか。

・肯定的回答率・・・中学生：57.3% (全国比+1.3%)

[中学校のみ]



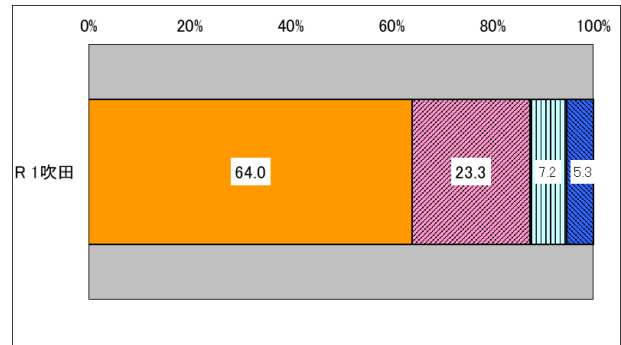
R 1全国	29.0	27.0	24.1	19.8
-------	------	------	------	------



Q：英語の勉強は大切だと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：87.3% (全国比+1.9%)

[中学校のみ]



R 1全国	58.9	26.5	9.3	5.3
-------	------	------	-----	-----

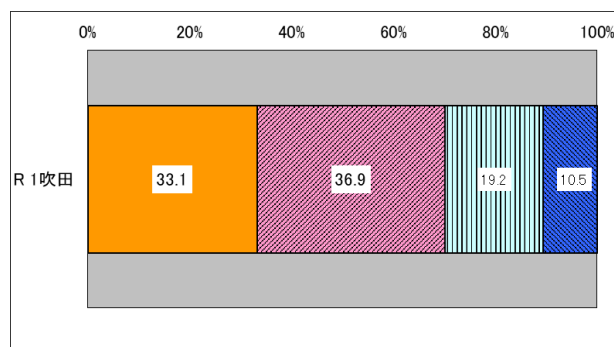


【英語】生徒質問紙より

Q：英語の授業はよくわかりますか。

・肯定的回答率・・・中学生：70.0% (全国比+4.0%)

[中学校のみ]



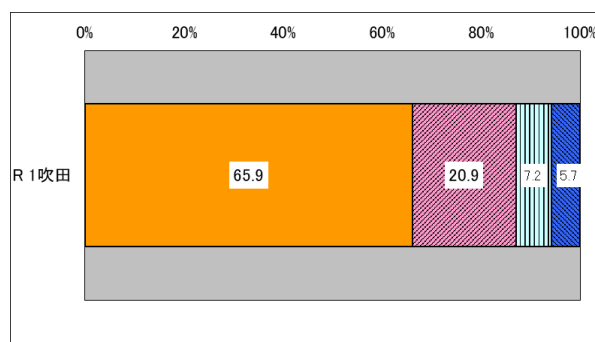
R 1全国	29.5	36.5	22.4	11.4
-------	------	------	------	------

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：86.8% (全国比+1.4%)

[中学校のみ]



R 1全国	60.7	24.7	9.2	5.2
-------	------	------	-----	-----

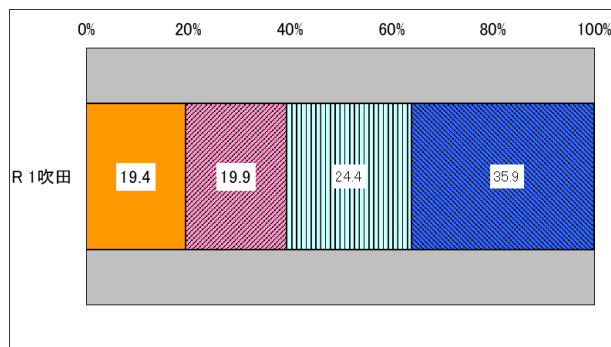
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【英語】生徒質問紙より

Q：あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか。

・肯定的回答率・・・中学生：39.3%（全国比+5.5%）

〔中学校のみ〕



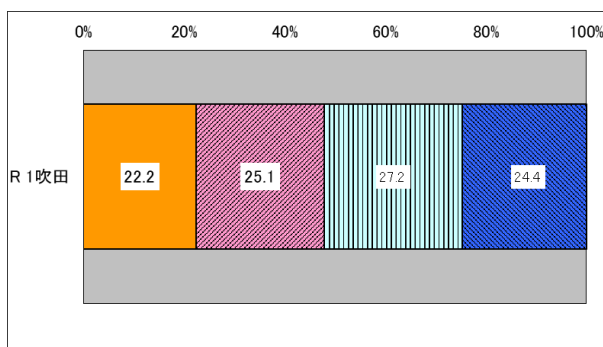
R1全国	15.4	18.4	26.2	39.8
------	------	------	------	------

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：47.3%（全国比+6.0%）

〔中学校のみ〕



R1全国	18.2	23.1	30.1	28.2
------	------	------	------	------

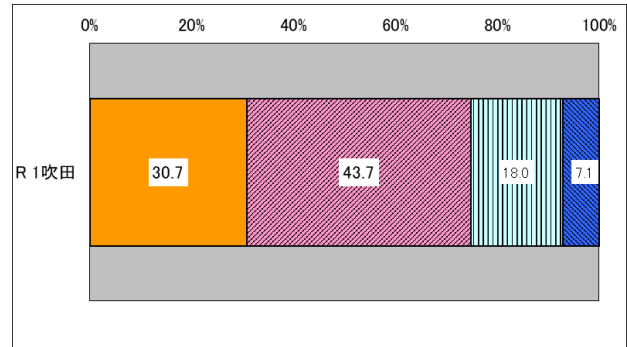
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【英語】生徒質問紙より

Q：1，2年生のときに受けた授業では，英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：74.4%（全国比）－4.8%

〔中学校のみ〕



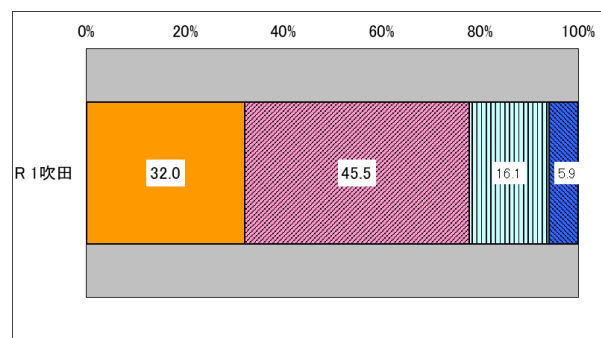
R 1全国	33.6	45.6	15.7	4.9
-------	------	------	------	-----

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：1，2年生のときに受けた授業では，英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：77.5%（全国比）－3.7%

〔中学校のみ〕



R 1全国	35.7	45.5	14.2	4.4
-------	------	------	------	-----

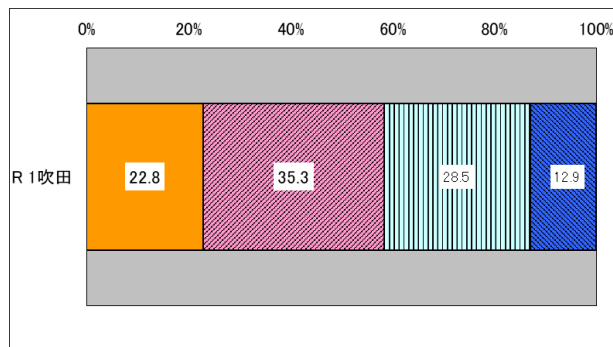
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【英語】生徒質問紙より

Q：1，2年生のときに受けた授業では，原稿などの準備をすることなく，（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：58.1%（全国比-4.8%）

〔中学校のみ〕



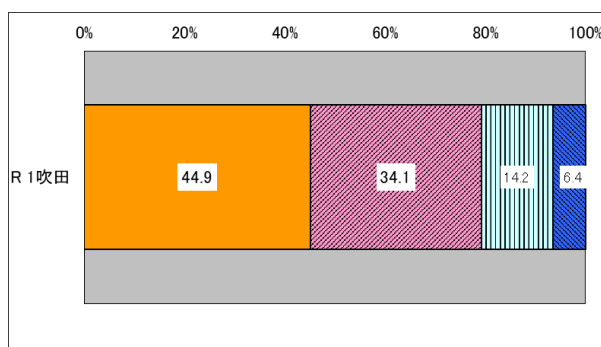
R 1全国	26.0	36.9	26.6	10.2
-------	------	------	------	------



Q：1，2年生のときに受けた授業では，スピーチやプレゼンテーションなど，まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：79.0%（全国比+1.8%）

〔中学校のみ〕



R 1全国	41.9	35.3	16.0	6.6
-------	------	------	------	-----

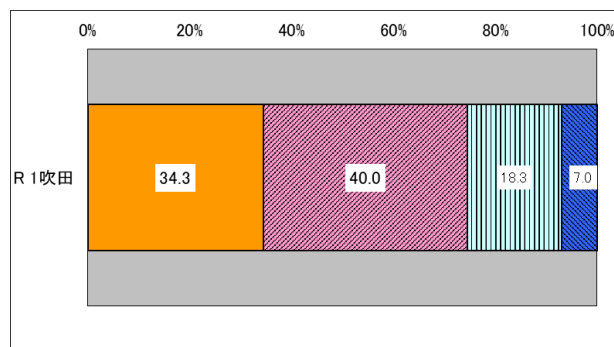


【英語】生徒質問紙より

Q：1，2年生のときに受けた授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：74.3%（全国比－5.8%）

[中学校のみ]



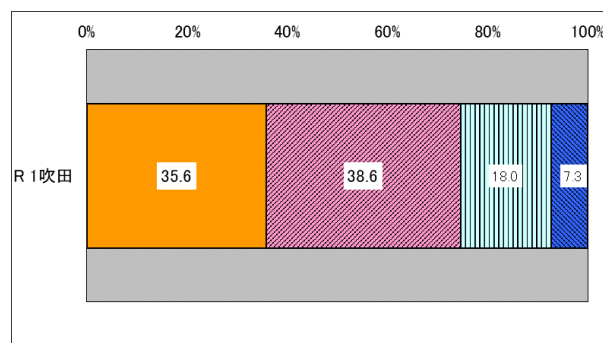
R 1全国	41.0	39.1	14.5	5.0
-------	------	------	------	-----



Q：1，2年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：74.2%（全国比－3.2%）

[中学校のみ]



R 1全国	39.1	38.3	16.3	6.0
-------	------	------	------	-----

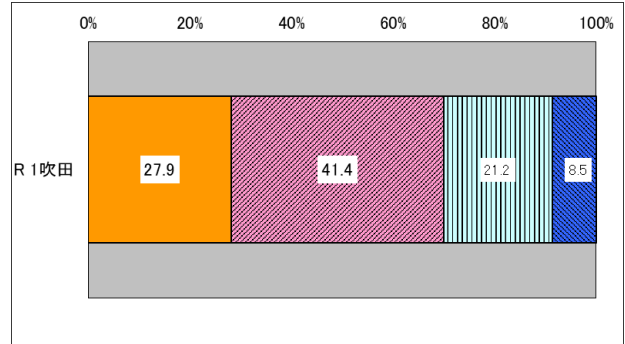


【英語】生徒質問紙より

Q：1，2年生のときに受けた授業では，聞いたり読んだりしたことについて，その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか。

・肯定的回答率・・・中学生：69.3%（全国比－5.3%）

〔中学校のみ〕



R 1全国	32.9	41.7	18.2	6.3
-------	------	------	------	-----



英語について

現状

◇本市における正答率の全国比値（全国を100とした場合）は非常に高い。
中学校 英語 110.7

◇生徒質問紙において、13項目中6項目が全国値を下回った。

◇全国値を大きく下回った質問は、以下の2項目であった。

Q：1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか。（－5.8）

Q：1・2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか。（－5.3）

改善・向上のために

◆教科書の本文で取り上げられている題材や言語材料を、生徒が関心を持てるように指導する。また、身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養い、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う学習を取り入れる。さらに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行う必要がある。

◆他教科での学習内容、学校生活における活動、地域行事、生徒の体験等と関連付け、文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を中心とする授業を構成する。

◆授業を実際のコミュニケーションの場面と捉え、生徒の発達段階に応じた英語を使って授業を行う等、生徒が英語に触れる機会を充実させる。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査結果

【分析グラフの見方について】

- ①「している（当てはまる）」「どちらかといえばしている（当てはまる）」を合わせたものを「肯定的回答群」としている。
「あまりしていない（どちらかといえば）当てはまらない」「全くしていない（当てはまらない）」を合わせたものを「否定的回答群」としている。
- ②「H30吹田」「H30全国」は、前回調査「平成30年度全国学力・学習状況調査」における児童・生徒質問紙の調査結果を掲載したものである。（本調査と同一の質問項目がある場合のみ）
※平成29年度も同様に掲載

（1）自分自身のことについて

現状及び経年変化

- ◇自己肯定感は、前回調査と比較すると小・中学生ともに低下しているが、29年度調査からは小・中学生はともに向上している。小学生は全国値を上回っているが、中学生は全国値を下回っている。
- ◇将来の夢や目標を持っている割合は、小・中学生ともに全国値を下回っている。
- ◇「人の役に立つ人間になりたい」について肯定的な回答をしている割合は、前回調査及び29年度と比較して、小学生は向上している。中学生は全国値よりもやや下回っており、小学生は全国値をやや上回っている。

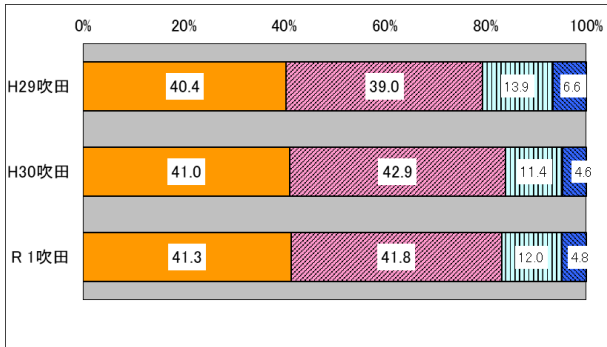
改善・向上のために

- ◆学校 ・教育活動全体において個々の子供理解に努め、子供同士が関わり、協力し合う取組みを増やし、それぞれの良さが発揮できる場面を意識的に作り、自己有用感や自己肯定感を育む。
- ・キャリア教育の小中一貫カリキュラムを活用し、系統的、継続的な取組を推進することで、将来に対する目的意識や展望を育む。
- ◆家庭 ・子供自身が主体的に活躍できる役割を家庭の中で与えたり、場を設けたりし、積極的に子供の行動に目を向け、良さを認めることで自己有用感や自己肯定感を高めていく。
- ・仕事について、保護者が日々のやりがいや楽しさを子供と共有し、子供自身の将来への夢や目標につなげていく。

Q：自分には、よいところがあると思いますか。

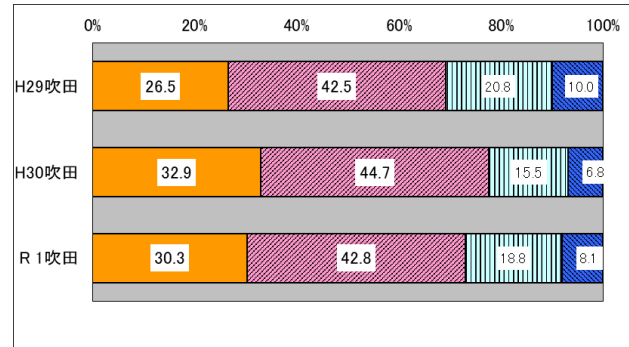
・肯定的回答率・・・小学生：83.1%（**全国比**+1.9%、**前回比**-0.8%、**H29比**+3.7%）
 中学生：73.1%（**全国比**-1.0%、**前回比**-4.5%、**H29比**+4.1%）

[小学校]



H29全国	38.6	39.3	14.9	7.0
H30全国	41.2	42.8	11.6	4.3
R 1全国	38.8	42.4	13.4	5.3

[中学校]



H29全国	28.2	42.5	20.5	8.6
H30全国	33.7	45.1	15.2	6.0
R 1全国	29.0	45.1	18.6	7.3



【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	70.8	75.3
2	どちらかといえば、当てはまる	68.3	72.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	61.6	69.7
4	当てはまらない	56.9	64.1

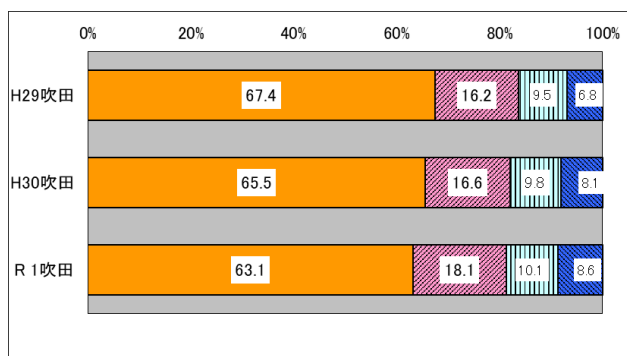
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	77.1	69.0	64.4
2	どちらかといえば、当てはまる	77.6	68.5	63.7
3	どちらかといえば、当てはまらない	72.8	61.3	57.7
4	当てはまらない	69.9	59.5	56.8

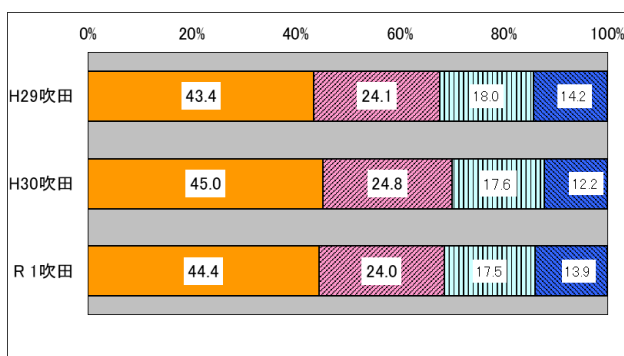
Q：将来の夢や目標を持っていますか。

・肯定的回答率・・・小学生：81.2%（**全国比**-2.6%、**前回比**-0.9%、**H29比**-2.4%）
 中学生：68.4%（**全国比**-2.1%、**前回比**-1.4%、**H29比**+0.9%）

[小学校]



[中学校]



H29全国	70.0	15.9	8.1	5.9
H30全国	68.2	16.9	8.6	6.2
R 1全国	65.9	17.9	9.3	6.9

H29全国	45.3	25.2	18.3	11.0
H30全国	45.3	27.1	17.4	10.0
R 1全国	44.9	25.6	17.9	11.5



【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	68.6	73.3
2	どちらかといえば、当てはまる	70.3	74.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	67.6	73.3
4	当てはまらない	58.4	66.2

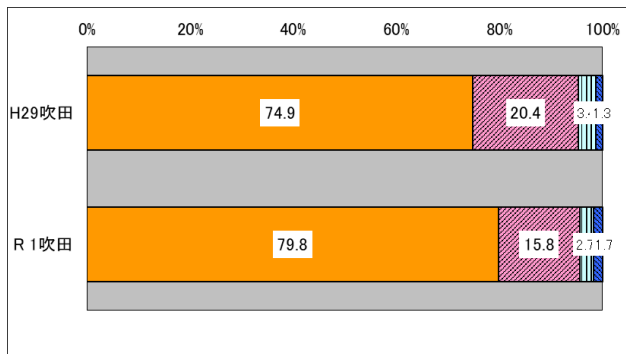
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	74.7	65.3	61.9
2	どちらかといえば、当てはまる	78.5	68.8	63.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	77.5	68.4	63.1
4	当てはまらない	73.7	64.8	59.6

Q：ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

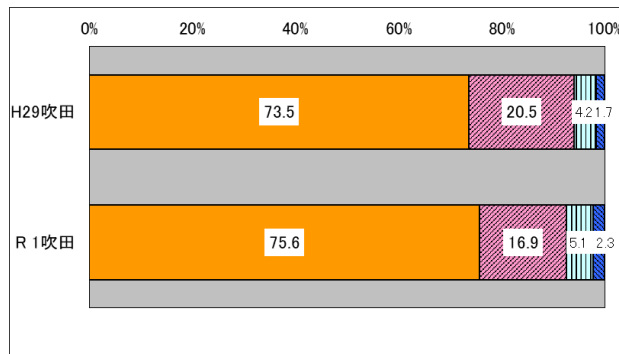
- ・肯定的回答率・・・小学生：95.6% (全国比+0.4%、H29比+0.3%)
 中学生：92.5% (全国比-1.4%、H29比-1.5%)

[小学校]



H29全国	73.4	21.4	4.0	1.2
H30全国				
R 1全国	79.5	15.7	3.4	1.4

[中学校]



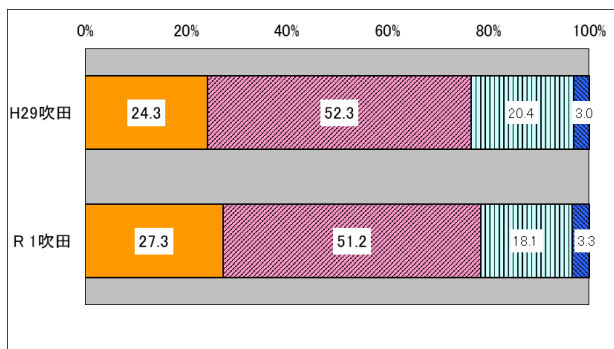
H29全国	73.3	21.4	4.0	1.3
H30全国				
R 1全国	75.6	18.3	4.4	1.6

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

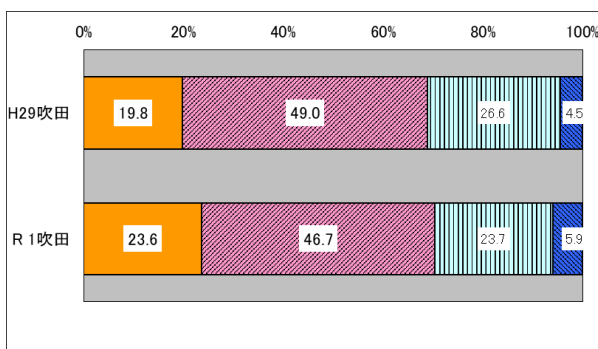
- ・肯定的回答率・・・小学生：78.5% (全国比-0.5%、H29比+1.9%)
 中学生：70.3% (全国比±0%、H29比+1.5%)

[小学校]



H29全国	26.7	50.7	19.5	3.0
H30全国				
R 1全国	30.1	48.9	17.6	3.3

[中学校]



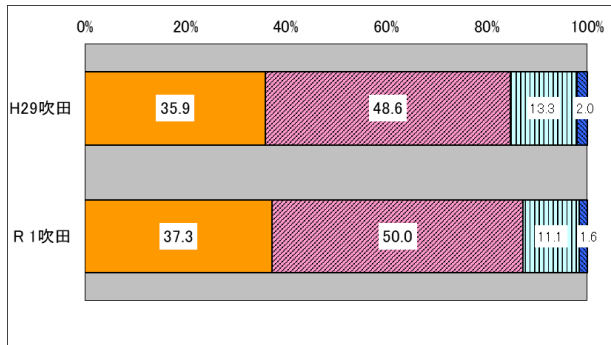
H29全国	19.9	51.1	25.1	3.8
H30全国				
R 1全国	22.5	47.8	25.0	4.6

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：人が困っているときは、進んで助けていますか。

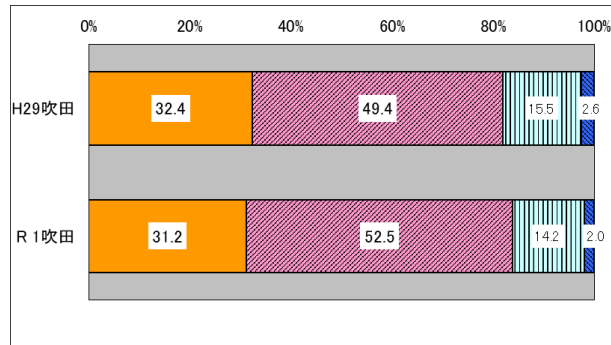
・肯定的回答率・・・小学生：87.3%（全国比-0.6%、H29比+2.8%）
 中学生：83.7%（全国比-2.2%、H29比+1.9%）

[小学校]



H29全国	38.5	46.8	12.3	2.3
H30全国				
R1全国	40.4	47.5	10.5	1.5

[中学校]



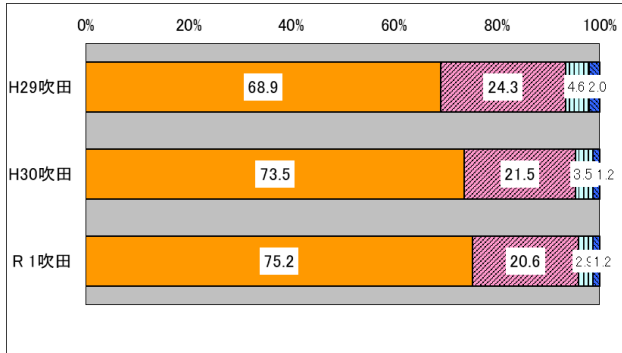
H29全国	35.6	48.8	13.0	2.4
H30全国				
R1全国	34.6	51.3	12.3	1.7

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

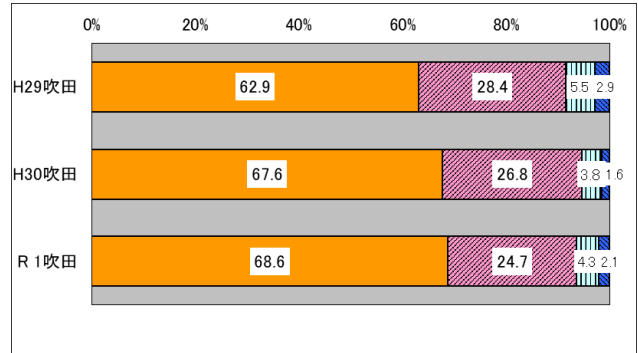
Q：人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

・肯定的回答率・・・小学生：95.8% (全国比+0.6%、前回比+0.8%、H29比+2.6%)
 中学生：93.3% (全国比-1.0%、前回比-1.1%、H29比+2.0%)

[小学校]

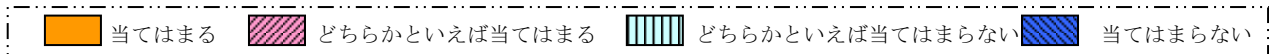


[中学校]



H29全国	68.0	24.5	5.1	2.2
H30全国	74.2	21.0	3.3	1.3
R 1全国	74.7	20.5	3.4	1.3

H29全国	66.1	25.8	5.3	2.5
H30全国	70.7	24.2	3.5	1.4
R 1全国	71.1	23.2	3.9	1.6



【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	69.5	73.9
2	どちらかといえば、当てはまる	65.2	71.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	58.4	68.2
4	当てはまらない	44.3	52.6

[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	78.3	69.2	64.2
2	どちらかといえば、当てはまる	71.4	61.2	58.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	69.5	62.2	58.3
4	当てはまらない	68.8	56.4	54.7

(2) 家庭生活・地域社会について

現状及び経年変化

- ◇「朝食を毎日食べていますか」に対する今年度の肯定的回答率は、小・中学生ともに前回調査及び全国値を上回っている。また、この質問に対し、肯定的な回答をしている児童・生徒の方が、教科における調査の正答率が高くなる傾向にある。
- ◇「学校の授業時間以外に、普段（月曜～金曜）、どれくらいの時間、勉強をしますか」について肯定的な回答をしている割合は、前回調査及び平成29年度と比較して、小・中学生ともに向上している。また、小・中学生ともに全国値を上回っている。
- ◇「自分で計画を立てて勉強していますか」に対して、小・中学生とも全国値よりは低く、特に小学生は前回調査及び平成29年度と比較して向上しているが、全国値を大きく下回っている。また、この質問に対して肯定的な回答をしている児童・生徒は各教科の正答率が高い傾向にある。
- ◇「読書は好きですか」について肯定的な回答をしている割合は、中学生が全国値を下回っている。また、この質問に対して肯定的な回答をしている児童・生徒は各教科の正答率が高い傾向にある。
- ◇読書について、「全くしていない」と回答している割合は、中学生が全国値よりも大きく上回っている。
- ◇「新聞を読んでいますか」に対する肯定的回答率は、小・中学生ともに全国値を下回っている。また、この質問に対して肯定的に回答している児童・生徒は各教科の正答率が高い傾向にある。
- ◇「地域の行事に参加していますか」に対する肯定的回答率は、小・中学生とも前回調査及び平成29年度より向上しているが、全国値を大きく下回っている。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問においても全国値を下回る結果であり、社会参画への意識が全国より低くなっている。

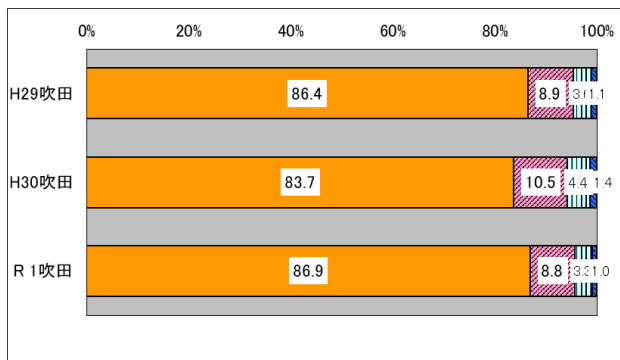
改善・向上のために

- ◆学校
 - ・日々の授業の中で児童・生徒の学習習慣の確立や主体的に取り組む態度を育成するとともに、保護者や地域との連携をさらに図る。
 - ・担任や教科担当教員が、それぞれの教科、領域に関わる社会の動きや時事問題を話題にし、児童・生徒に興味関心を持たせるとともに、教科との連携も図る。
 - ・読書習慣定着のために、本をすぐに手に取れるよう教室に置く等の読書環境の整備をするだけでなく、学習内容に関連した本を紹介する。また、読書活動支援者の活用を進め、学校図書館の充実を図る。
- ◆家庭
 - ・朝食の大切さの再確認を行う。
 - ・家庭学習についても、家庭での時間の使い方を話し合い、子供自身が主体的に取り組む姿勢を養う。
 - ・読書習慣の定着については、読んだ本の楽しさ・面白さについて話す機会を持ったり、家族で読書をしたりする等、本を身近に感じられる環境を整える。
 - ・社会の動きに関心を持てるよう、テレビやインターネットのニュースを一緒に見たり、時事問題を話題にしたり、ボランティアに参加する等、社会参画の意識を高める。

Q：朝食を毎日食べていますか。

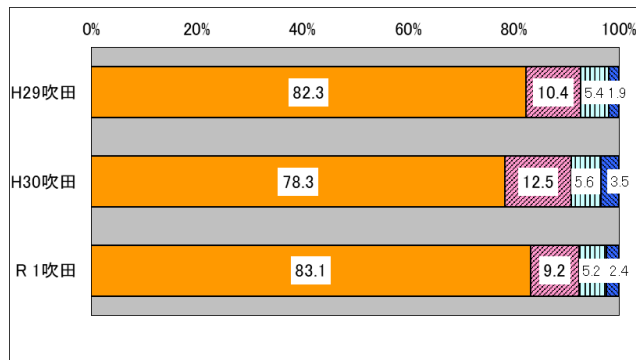
・肯定的回答率・・・小学生：95.7% (全国比+0.4%、前回比+1.5%、H29比+0.4%)
 中学生：92.3% (全国比-0.8%、前回比+1.5%、H29比-0.4%)

[小学校]



H29全国	87.0	8.4	3.7	0.9
H30全国	84.8	9.7	4.1	1.4
R 1全国	86.7	8.6	3.6	1.0

[中学校]



H29全国	82.7	10.5	4.9	1.9
H30全国	79.7	12.2	5.4	2.6
R 1全国	82.3	10.8	4.9	2.0



【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	している	69.7	74.2
2	どちらかといえばしている	59.0	65.6
3	あまりしていない	54.4	62.7
4	全くしていない	44.4	57.8

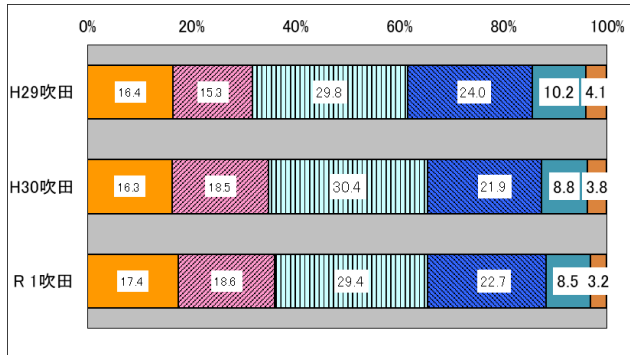
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	している	77.6	68.9	64.0
2	どちらかといえばしている	72.2	59.6	56.4
3	あまりしていない	61.1	48.8	49.7
4	全くしていない	64.3	50.7	49.8

Q：学校の授業時間以外に、普段（月曜～金曜）、どれくらいの時間、勉強をしますか。

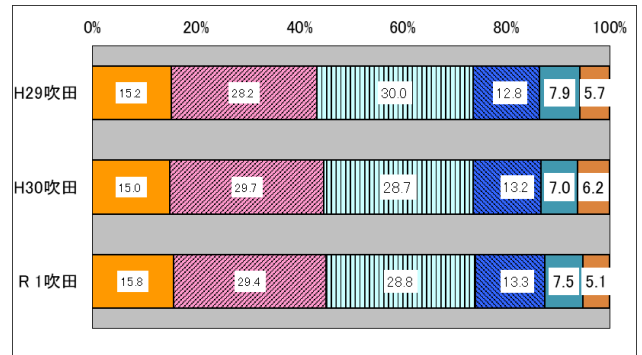
- ・ 1日2時間以上の割合…小学生：36.0%（全国比+6.7%、前回比+1.2%、H29比+4.3%）
 中学生：45.2%（全国比+9.7%、前回比+0.5%、H29比+1.8%）

[小学校]

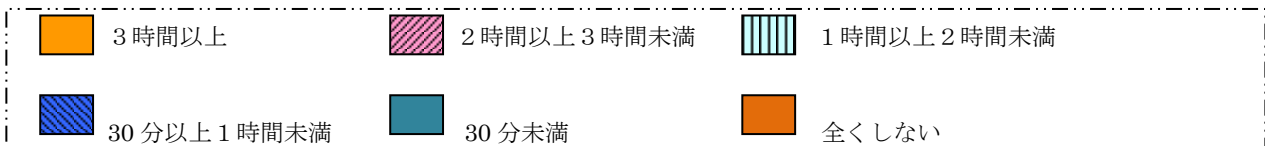


H29全国	11.9	15.2	37.3	24.3	8.4	2.9
H30全国	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5
R 1全国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3

[中学校]



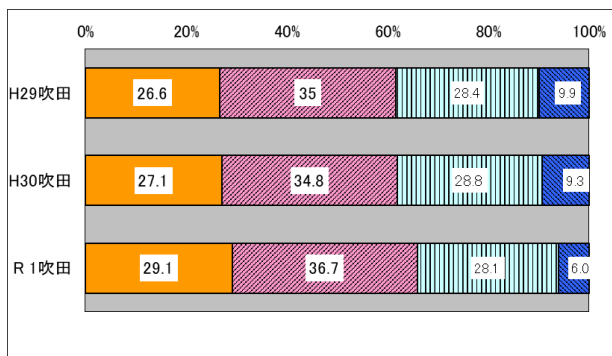
H29全国	10.1	25.3	34.2	17.2	8.3	4.9
H30全国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9
R 1全国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4



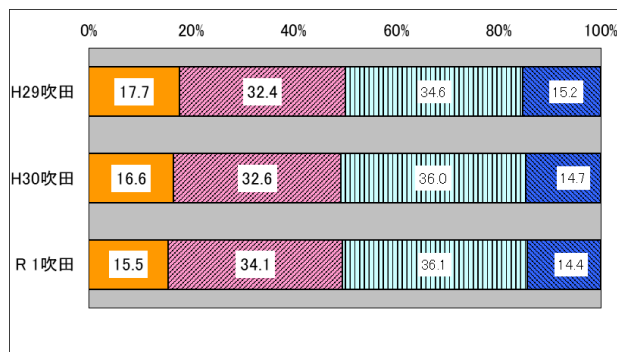
Q：家で自分で計画を立てて勉強していますか。

・肯定的回答率・・・小学生：65.8%（全国比-5.7%、前回比+3.9%、H29比+3.9%）
 中学生：49.6%（全国比-0.8%、前回比+0.4%、H29比-0.5%）

[小学校]



[中学校]



H29全国	30.0	34.5	26.1	9.4
H30全国	30.7	36.9	24.7	7.6
R1全国	33.1	38.4	23.0	5.5

H29全国	18.6	32.9	33.9	14.5
H30全国	16.6	35.5	34.8	13.0
R1全国	14.9	35.5	37.3	12.2



【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	している	72.7	76.1
2	どちらかといえばしている	69.2	73.8
3	あまりしていない	64.2	70.1
4	全くしていない	55.0	65.2

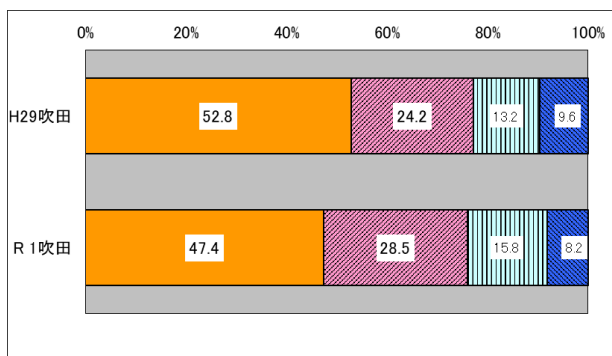
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	している	81.2	74.4	69.5
2	どちらかといえばしている	78.5	69.4	64.6
3	あまりしていない	74.3	64.2	59.9
4	全くしていない	68.3	57.5	54.5

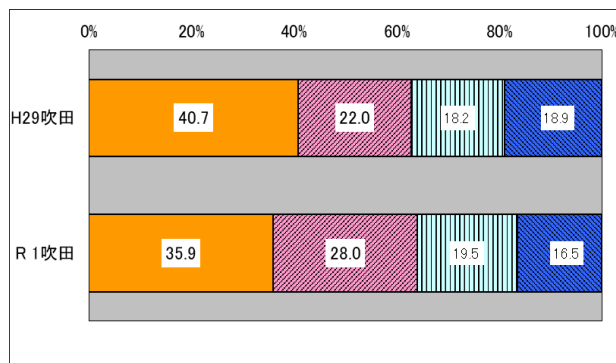
Q：読書は好きですか。

・肯定的回答率・・・小学生：75.9%（全国比+0.9%、H29比-1.1%）
 中学生：63.9%（全国比-4.1%、H29比+1.2%）

〔小学校〕



〔中学校〕



H29全国	49.0	25.3	15.2	10.3
H30全国				
R1全国	44.3	30.7	16.7	8.3

H29全国	46.1	23.8	16.4	13.4
H30全国				
R1全国	38.9	29.1	19.1	12.8

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【平均正答率との関係】

〔小学校〕

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	74.6	77.0
2	どちらかといえば、当てはまる	64.8	70.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	60.4	69.3
4	当てはまらない	55.1	63.4

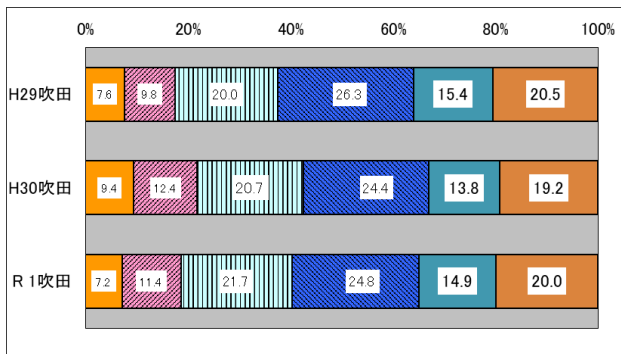
〔中学校〕

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	82.2	72.0	65.8
2	どちらかといえば、当てはまる	76.9	67.1	62.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	71.5	62.4	59.5
4	当てはまらない	65.9	59.0	57.6

Q：学校の授業時間以外に、普段（月曜～金曜）、どれくらいの時間、読書をしますか。

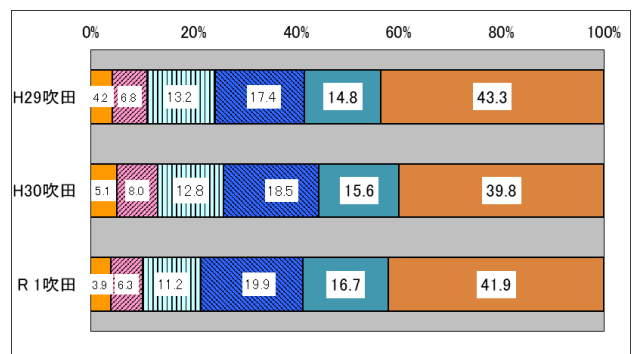
- ・全くしない割合…小学生：20.0%（**全国比**+1.3%、**前回比**+0.8%、**H29比**-0.5%）
 中学生：41.9%（**全国比**+7.1%、**前回比**+2.1%、**H29比**-1.4%）

[小学校]

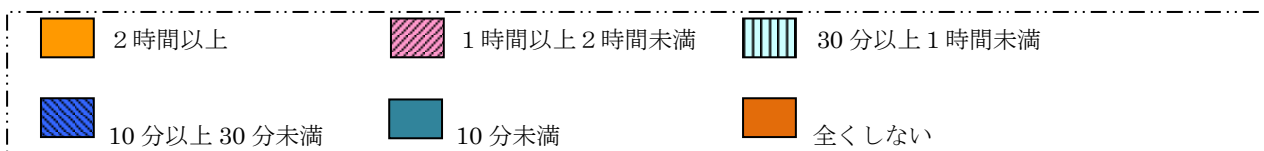


H29全国	6.9	9.9	19.7	26.8	16.1	20.5
H30全国	7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7
R 1全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7

[中学校]



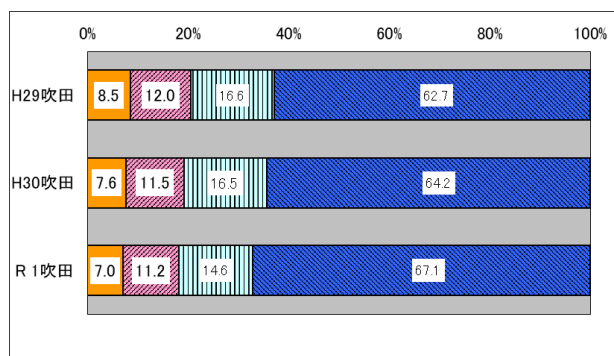
H29全国	5.7	8.3	15.2	22.2	12.8	35.6
H30全国	6.1	8.7	16.1	22.6	13.5	32.9
R 1全国	4.8	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8



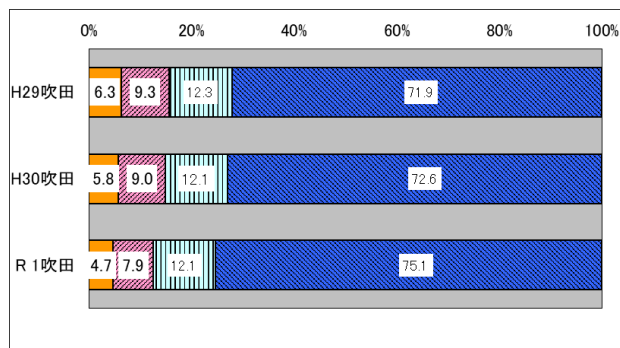
Q：新聞を読んでいますか。

・肯定的回答率・・・小学生：18.2% (全国比-0.8%、前回比-0.9%、H29比-2.3%)
 中学生：12.6% (全国比-0.1%、前回比-2.2%、H29比-3.0%)

[小学校]



[中学校]



H29全国	7.8	13.2	19.2	59.6
H30全国	7.4	12.5	19.0	60.9
R1全国	7.0	12.0	19.5	61.4

H29全国	5.3	9.6	15.5	69.5
H30全国	4.9	9.0	15.3	70.4
R1全国	4.4	8.3	15.8	71.3



【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	ほぼ毎日読んでいる	78.6	80.4
2	週に1~3回程度読んでいる	75.1	78.5
3	月に1~3回程度読んでいる	69.4	75.2
4	ほとんど、または、全く読まない	65.3	70.7

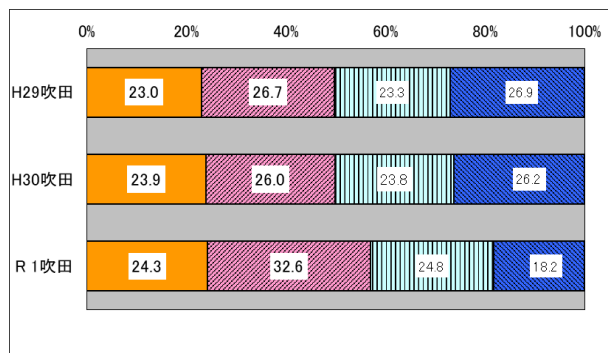
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	ほぼ毎日読んでいる	83.7	75.8	70.2
2	週に1~3回程度読んでいる	83.0	73.5	68.9
3	月に1~3回程度読んでいる	77.0	69.4	64.4
4	ほとんど、または、全く読まない	74.6	64.9	60.7

Q：今住んでいる地域の行事に参加していますか。

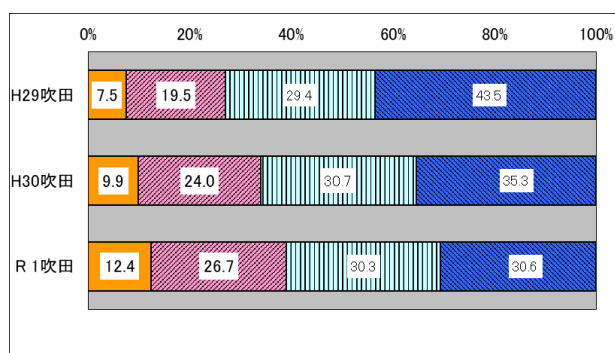
・肯定的回答率・・・小学生：56.9%（全国比-11.1%、前回比+7.0%、H29比+7.2%）
 中学生：39.1%（全国比-11.5%、前回比+5.2%、H27比+12.1%）

[小学校]



H29全国	35.0	27.6	19.0	18.4
H30全国	35.9	26.8	19.2	18.0
R 1全国	37.2	30.8	18.6	13.4

[中学校]



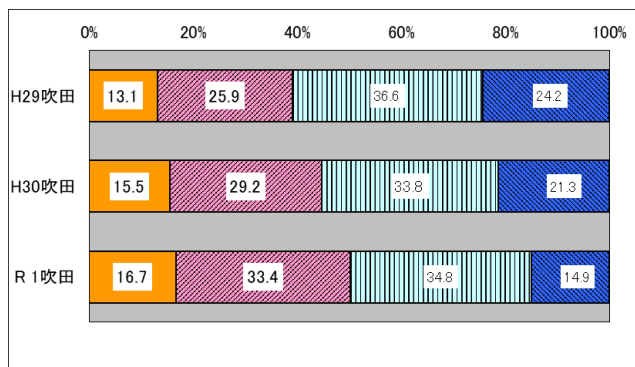
H29全国	16.9	25.2	26.9	30.9
H30全国	18.6	27.0	27.9	26.4
R 1全国	21.0	29.6	26.1	23.2



Q：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

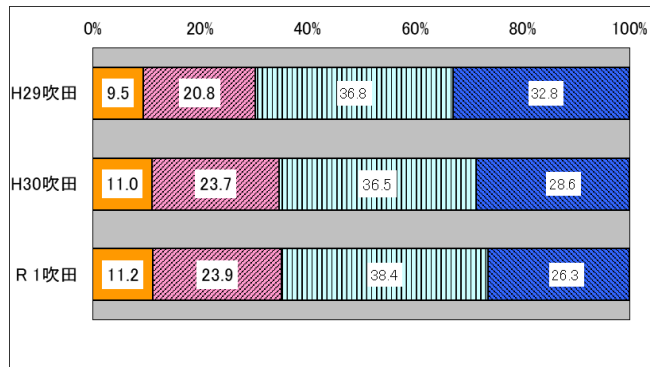
・肯定的回答率・・・小学生：50.1%（全国比-4.4%、前回比+5.4%、H29比+11.1%）
 中学生：35.1%（全国比-4.3%、前回比+0.4%、H29比+4.8%）

[小学校]



H29全国	14.8	27.5	35.7	21.9
H30全国	17.3	32.6	33.0	17.0
R 1全国	18.9	35.6	32.3	13.1

[中学校]



H29全国	9.8	23.6	38.9	27.6
H30全国	10.6	28.1	39.6	21.7
R 1全国	11.5	27.9	38.9	21.6



(3) 学校生活・学習について

現状及び経年比較

- ◇「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、平成29年度調査と比較すると、小・中学校ともに肯定的な回答が向上しているが、前回調査及び全国値と比較すると小学生は上回っているが、中学生は下回っている。
- ◇「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか」「あなたの学校では、学校生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」及び「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」に対する肯定的な回答の割合が、小・中学生ともに全国値を大きく下回っている。

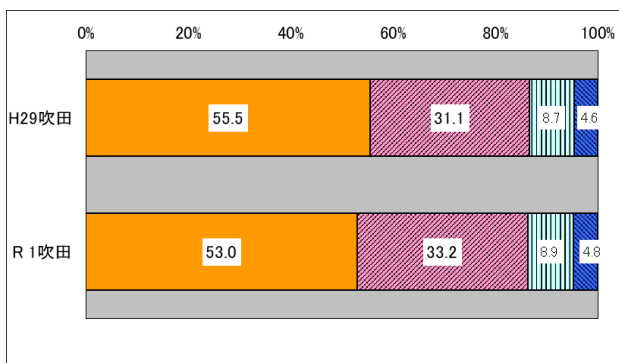
改善・向上のために

- ◆「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」との認識が一層高まるよう、道徳等の授業においてだけでなく、学校生活全般において継続的で一貫した「成長を促す指導」が必要である。
- ◆総合的な学習の時間では、施行錯誤しながら新しい未知の課題に粘り強く対処し、解決しようとする姿勢を育むために、身近な社会の人々、自然に直接関わる学習活動に取り組む必要がある。
- ◆特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）では、児童・生徒の自治的な能力や自主的な態度を育てるとともに、学力向上の基盤に必要な人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する要望的な役割を果たすため、学校やクラスの実態に合わせた取組を実施する。

Q：学校に行くのは楽しいと思いますか。

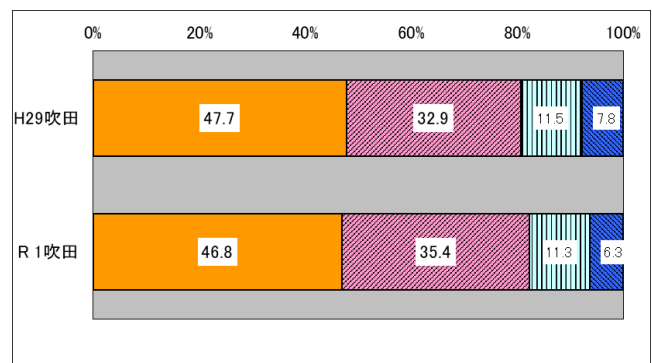
- ・肯定的回答率・・・小学生：86.2%（全国比+0.4%、H29比-0.4%）
中学生：82.2%（全国比+0.3%、H29比+1.6%）

[小学校]



H29全国	55.4	30.9	9.2	4.3
H30全国				
R1全国	53.9	31.9	9.6	4.5

[中学校]



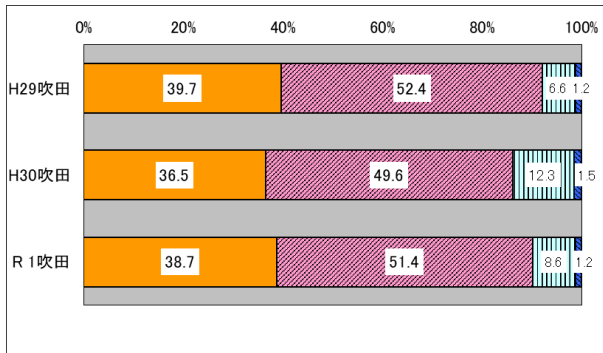
H29全国	47.3	33.6	12.2	6.9
H30全国				
R1全国	45.7	36.2	12.0	6.0

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：学校のきまり（規則）を守っていますか。

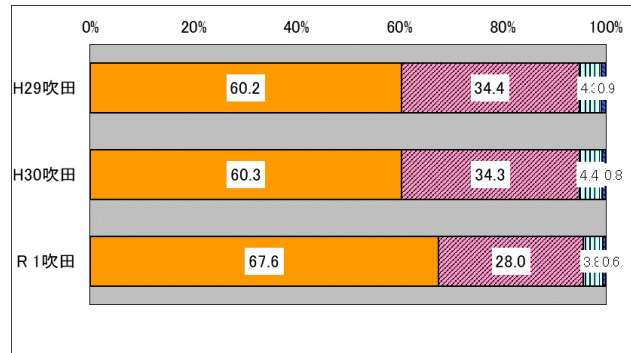
・肯定的回答率・・・小学生：90.1%（全国比-2.2%、前回比+3.9%、H29比-2.0%）
 中学生：95.6%（全国比-0.6%、前回比+1.0%、H29比+1.0%）

[小学校]



H29全国	46.4	46.2	6.3	1.0
H30全国	43.8	45.7	8.9	1.5
R1全国	46.7	45.6	6.6	1.0

[中学校]



H29全国	63.0	32.2	3.8	0.9
H30全国	63.4	31.7	3.9	0.9
R1全国	66.8	29.4	3.1	0.6

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	70.9	74.2
2	どちらかといえば、当てはまる	67.8	73.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	59.4	67.7
4	当てはまらない	41.8	49.1

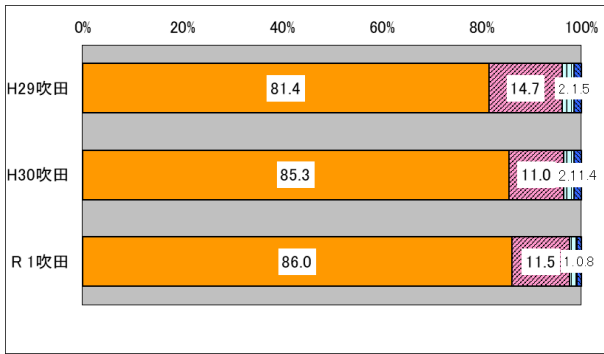
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	77.8	68.8	63.8
2	どちらかといえば、当てはまる	74.1	63.9	60.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	61.2	49.9	49.8
4	当てはまらない	46.8	43.1	47.9

Q：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

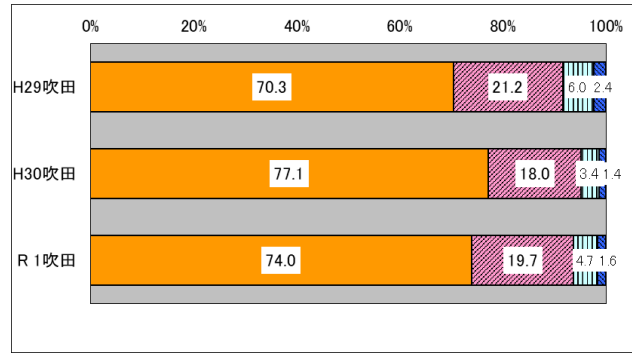
- ・ 肯定的回答率・・・小学生：97.5% (全国比+0.4%、前回比+1.2%、H29比+1.4%)
 中学生：93.7% (全国比-1.4%、前回比-1.4%、H29比+2.2%)

[小学校]



H29全国	81.2	14.9	2.7	1.1
H30全国	85.9	10.9	1.9	1.1
R 1全国	85.0	12.1	2.0	0.8

[中学校]



H29全国	73.3	19.5	4.9	2.2
H30全国	80.7	14.8	3.0	1.5
R 1全国	78.3	16.8	3.6	1.3

当てはまる

 どちらかといえば当てはまる

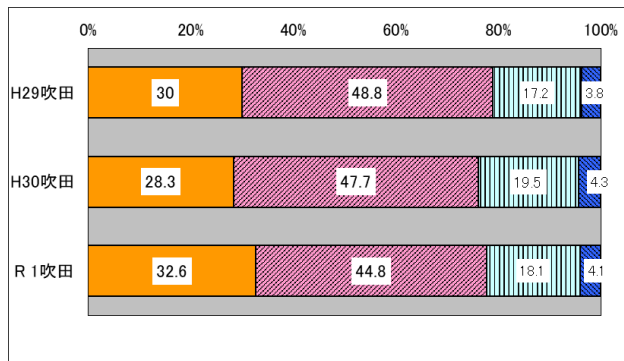
 どちらかといえば当てはまらない

 当てはまらない

Q：5年生（中学校は1，2年生）のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

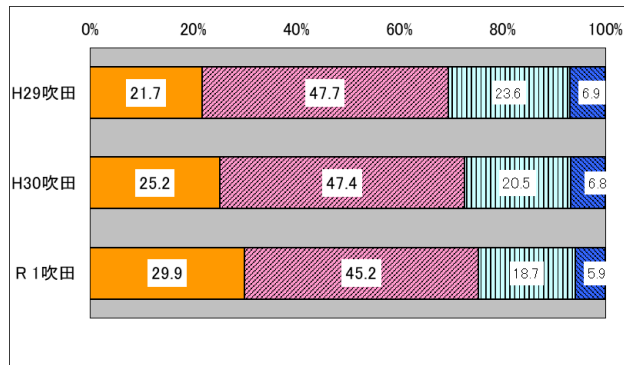
・肯定的回答率・・・小学生：77.4%（全国比-0.3%、前回比+1.4%、H29比-1.4%）
 中学生：75.1%（全国比-0.3%、前回比+2.5%、H29比+5.7%）

[小学校]



H29全国	30.5	47.4	18.3	3.8
H30全国	29.1	47.6	19.0	4.2
R 1全国	33.0	44.7	18.1	4.0

[中学校]



H29全国	26.8	48.1	20.1	4.9
H30全国	26.3	47.5	20.8	5.3
R 1全国	29.3	45.5	20.0	4.9

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	73.6	77.7
2	どちらかといえば、当てはまる	68.7	73.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	59.7	66.3
4	当てはまらない	52.2	59.3

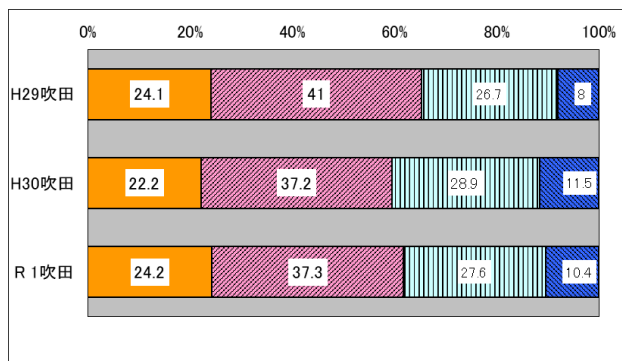
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	80.7	74.3	67.8
2	どちらかといえば、当てはまる	77.6	67.7	62.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	69.2	57.5	56.9
4	当てはまらない	60.5	49.2	49.3

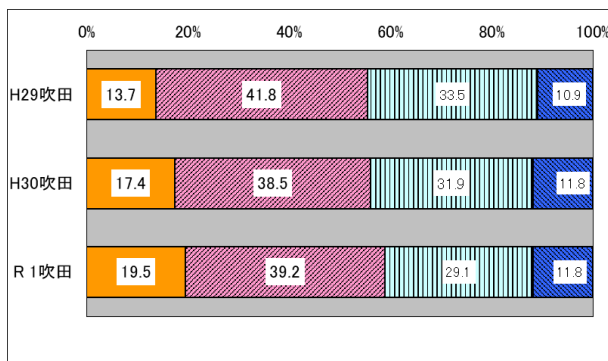
Q：5年生（中学校は1，2年生）のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

・肯定的回答率・・・小学生：61.5%（全国比-1.0%、前回比+2.1%、H29比-3.6%）
 中学生：58.7%（全国比+2.9%、前回比+2.8%、H29比+3.2%）

[小学校]



[中学校]



H29全国	24.7	40.2	26.6	8.3
H30全国	23.5	37.5	28.7	10.0
R1全国	24.7	37.8	27.5	9.7

H29全国	17.1	40.8	31.9	10.0
H30全国	16.6	37.2	33.4	12.5
R1全国	18.1	37.7	32.4	11.6

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	73.3	78.2
2	どちらかといえば、当てはまる	70.8	74.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	64.5	69.8
4	当てはまらない	54.9	63.1

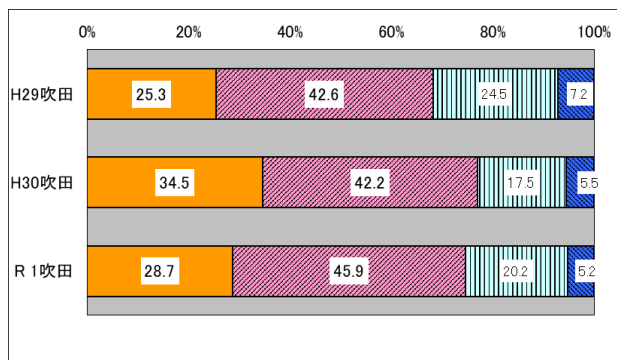
[中学校]

選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	81.3	73.7	67.7
2	どちらかといえば、当てはまる	78.0	68.8	63.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	73.5	63.8	59.5
4	当てはまらない	66.4	55.1	54.7

Q:話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

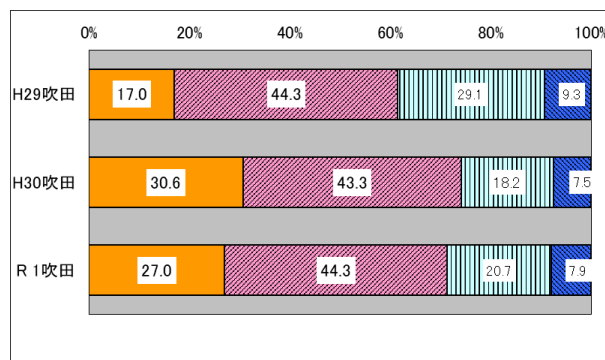
・肯定的回答率・・・小学生：74.6% (全国比+0.5%、前回比-2.1%、H29比+6.7%)
 中学生：71.3% (全国比-1.5%、前回比-2.6%、H29比+10.0%)

[小学校]



H29全国	26.9	41.3	24.2	7.3
H30全国	34.7	43.0	17.3	4.8
R 1全国	30.3	43.8	20.5	5.4

[中学校]



H29全国	19.7	45.1	26.7	8.1
H30全国	32.4	43.9	17.3	6.3
R 1全国	28.3	44.5	20.4	6.7

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

【平均正答率との関係】

[小学校]

選択肢		平均正答率 (%)	
		国語	算数
1	当てはまる	71.9	76.2
2	どちらかといえば、当てはまる	69.4	73.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	63.2	69.6
4	当てはまらない	52.2	60.4

[中学校]

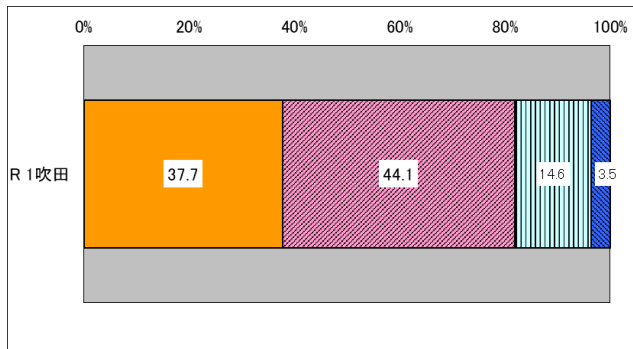
選択肢		平均正答率 (%)		
		国語	数学	英語
1	当てはまる	77.9	69.2	64.6
2	どちらかといえば、当てはまる	78.4	68.9	63.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	72.0	61.6	59.1
4	当てはまらない	66.2	57.9	56.1

Q：授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。

※この設問は小学校が今年度初めて設定されました。

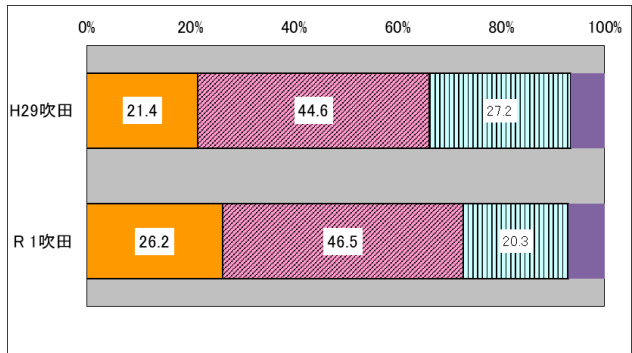
- ・肯定的回答率・・・小学生：81.8% (全国比-1.0%)
 中学生：72.7% (全国比-2.2%、H29比+6.7%)

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	38.9	43.9	14.3	2.8

[中学校]



H29全国	22.5	48.4	24.2	4.6
H30全国				
R 1全国	26.9	48.0	20.6	4.4

当てはまる

 どちらかといえば当てはまる

 どちらかといえば当てはまらない

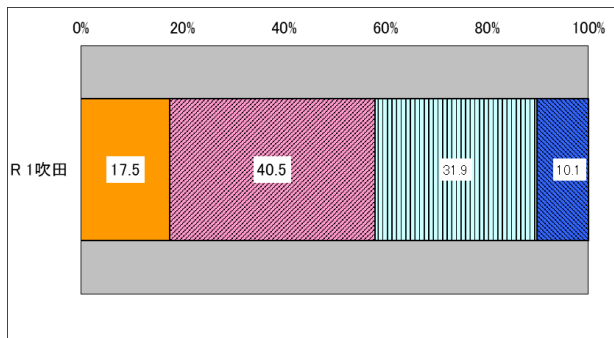
 当てはまらない

Q：総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。

※この設問は小学校が今年度初めて設定されました。

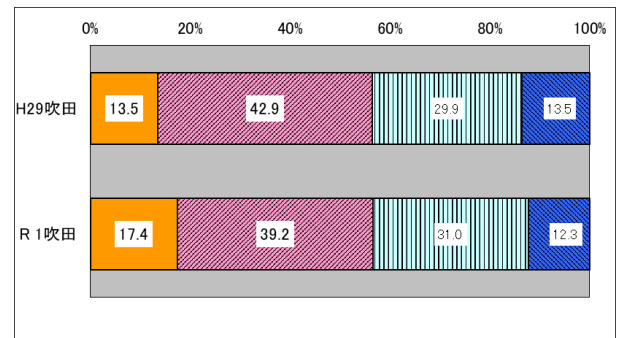
- ・肯定的回答率・・・小学生：58.0% (全国比-7.7%)
 中学生：56.6% (全国比-4.9%、H29比+0.2%)

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	25.1	40.6	26.7	7.3

[中学校]



H29全国	21.3	43.0	25.7	9.7
H30全国				
R 1全国	20.3	41.2	28.9	9.4

当てはまる

 どちらかといえば当てはまる

 どちらかといえば当てはまらない

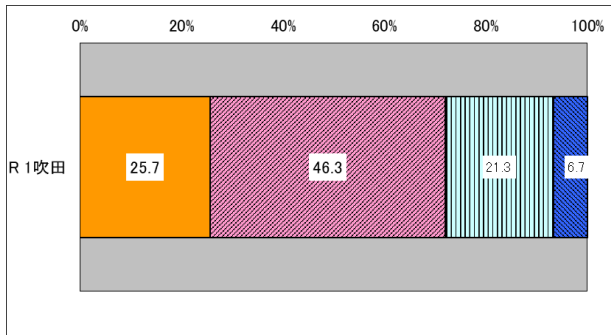
 当てはまらない

Q：あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

※この設問は今年度初めて設定されました。

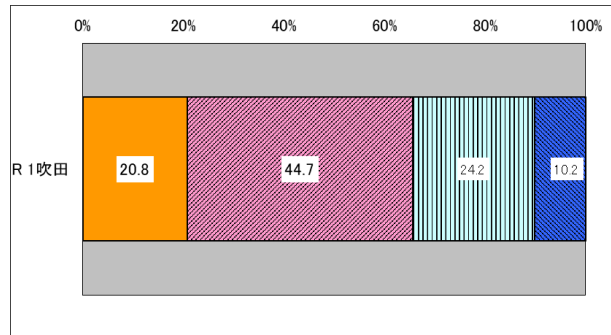
- ・肯定的回答率・・・小学生：72.0%（全国比－2.0%）
中学生：65.5%（全国比－6.1%）

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	30.1	43.9	20.3	5.6

[中学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	25.3	46.3	21.3	7.0

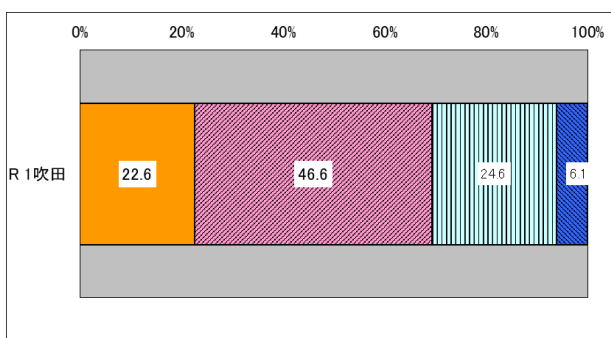
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。

※この設問は今年度初めて設定されました。

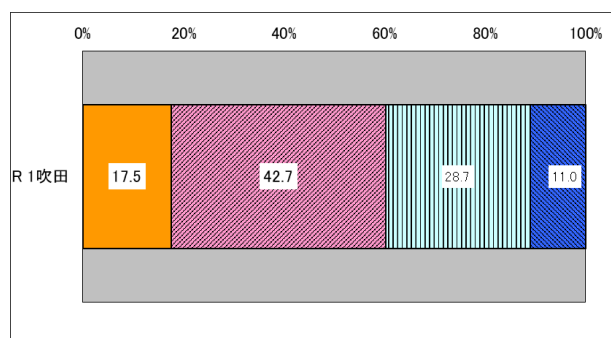
- ・肯定的回答率・・・小学生：69.2%（全国比－4.2%）
中学生：60.2%（全国比－5.4%）

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	28.8	44.6	21.3	5.2

[中学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	21.0	44.6	26.1	8.1

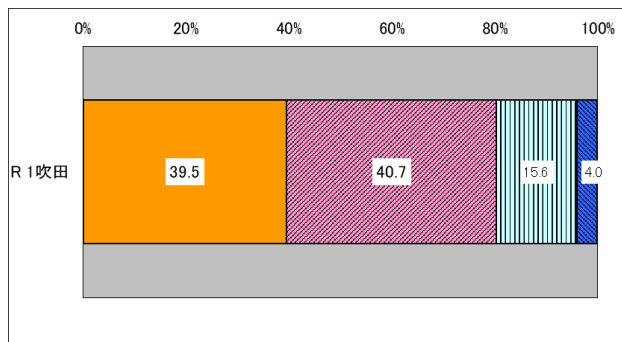
当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

Q：道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。

※この設問は今年度初めて設定されました。

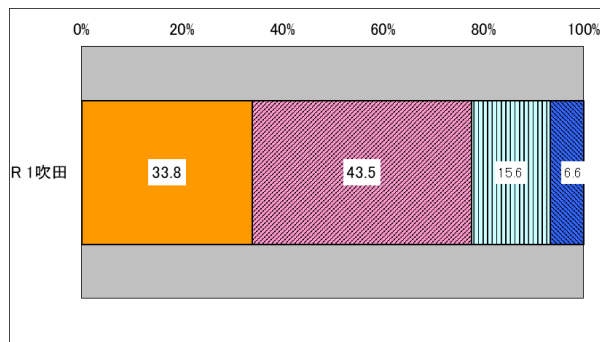
- ・肯定的回答率・・・小学生：80.2% (全国比-0.7%)
 中学生：77.3% (全国比+0.7%)

[小学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	42.1	38.8	14.9	4.0

[中学校]



H29全国				
H30全国				
R 1全国	34.0	42.6	17.3	5.7

当てはまる
 どちらかといえば当てはまる
 どちらかといえば当てはまらない
 当てはまらない

おわりに

子供たちが、これからの予測困難な社会の変化に柔軟に対応しながら主体的に関わり、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自ら可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身につけられるようにすることが重要です。

今回の調査から、学習意欲、学習方法について、一層改善すべき課題が明らかになりました。例えば、主体性・挑戦心・既習事項の活用力等については、「総合的人間力」の育成を目指す上で、改善すべき課題といえます。こうした課題を受け、基礎学力の定着に向けた個別支援の充実や、授業改善を行い、より「確かな学力」となるよう、指導方法を工夫してまいります。

本市教育委員会としましては、下記項目に重点を置き、学校を支援することにより、学校・家庭・地域が手を携えて、「総合的人間力の育成」を進められるように働きかけ、社会に向き合える力を育成し、学校生活で学んだ力が、社会に出たときに真に「生きる力」となるように研鑽してまいります。

令和元年（2019年）10月

【「総合的人間力」の育成を目指して】

●9年間を見通した、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり

- ・各校及び各中学校ブロックにおける小中一貫教育カリキュラムに沿った系統的で継続性のある教科指導の定着
- ・学習の目標（めあて・ねらい）を明確にした授業、振り返りによる理解の定着と授業評価（指導と評価の一体化）
- ・子供たちが主体的に学習する活動や、対話的活動等を伴った学習の充実
- ・ICT機器を活用した授業の研究と実践
- ・社会に関心を持ち、自発的に調べる意欲につながる授業実践や環境設定

●授業規律、生活規律の確立

- ・各中学校ブロックにおける小中共通の指導項目による系統的で継続性のある授業規律、生活規律の確立
- ・校内指導体制の充実と生徒指導組織の機能化
- ・インターネットや携帯電話・スマートフォン使用の在り方等、情報モラルに関する指導

●習熟度別授業等、一人ひとりに応じたきめ細かな指導

- ・児童・生徒の実態に応じた習熟度別指導の充実
- ・少人数指導における指導方法、指導形態等の検証と改善

●自学自習力の育成

- ・思考力・判断力・表現力の基盤となる読書活動・学校図書館教育の充実
- ・放課後学習や補習等の学習支援の充実
- ・家庭との連携を図り、自ら学習に向かう家庭学習習慣の確立

●教職員研修の充実

- ・「総合的人間力」を育む教育を推進するための教職員の育成
- ・子供・保護者・地域から信頼される学校づくりを担う使命感をもった教職員の育成
- ・研修成果を各校園で生かした、学校組織としての教育力の向上